状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	6	地覆・中央分離帯	Ⅰ	5-地覆02	変形・欠損など

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	7	排水装置	Ⅱ	5-排水装置0102	土砂詰まり

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	8	主桁	Ⅰ	5-主桁02	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	9	主桁	Ⅰ	5-主桁02	亀裂

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	10	主桁	Ⅰ	5-主桁02	ゆるみ・脱落

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	11	主桁	Ⅰ	5-主桁01	破断

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	12	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	5-横桁01	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	13	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	5-横桁06	亀裂

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	14	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	5-横桁04	ゆるみ・脱落

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	15	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	5-横桁03	破断

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	16	床版（張出部含む）	Ⅰ	5-床版02	剥離・鉄筋露出

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	17	床版（張出部含む）	Ⅱ	5-床版01	漏水・遊離石灰

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	18	床版（張出部含む）	Ⅰ	5-床版02	抜け落ち

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	19	床版（張出部含む）	Ⅱ	5-床版01	床版ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	20	橋台・橋脚	Ⅱ	5-橋脚01	ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	21	橋台・橋脚	Ⅱ	5-橋脚02	ひびわれ

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	22	橋台・橋脚	Ⅰ	5-橋脚02	剥離・鉄筋露出

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	23	橋台・橋脚	Ⅰ	5-橋脚02	漏水・遊離石灰

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	24	基礎	Ⅰ	5-基礎01	沈下・移動・傾斜

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	25	基礎	Ⅰ	5-基礎02	洗掘

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	26	支承部	Ⅰ	5-支承部0201	支承部の機能障害

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	27	支承部	Ⅰ	5-支承部0101	沓座モルタルの変形・欠損

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	28	支承部	Ⅰ	5-支承部0101	漏水・滞水

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	29	その他	Ⅱ	5-高欄01	遊離石灰

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	30	その他	Ⅱ	5-地覆01	遊離石灰（ひびわれあり）

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	31	その他	Ⅱ	5-地覆02	遊離石灰

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	32	その他	Ⅱ	5-橋脚01	伸縮装置からの漏水

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	33	その他	Ⅱ	5-橋脚01	伸縮装置からの漏水

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	34	その他	Ⅰ	5-橋脚02	表面劣化

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
5	35	その他	Ⅱ	5-伸縮装置01	土砂堆積

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	1	舗装	Ⅰ	6-舗装01	舗装の異常

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	2	高欄・防護柵	Ⅰ	6-高欄02	腐食、変形・欠損など

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	3	地覆・中央分離帯	Ⅰ	6-地覆01	変形・欠損など

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	4	主桁	Ⅰ	6-主桁01	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	5	主桁	Ⅰ	6-主桁02	亀裂

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	6	主桁	Ⅰ	6-主桁01	ゆるみ・脱落

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	7	主桁	Ⅰ	6-主桁02	破断

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	8	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	6-横桁06	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	9	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	6-横桁10	亀裂

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	10	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	6-横桁09	ゆるみ・脱落

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	11	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	6-横桁05	破断

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	12	床版（張出部含む）	Ⅰ	6-床版03	剥離・鉄筋露出

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	13	床版（張出部含む）	Ⅱ	6-床版03	漏水・遊離石灰

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	14	床版（張出部含む）	Ⅰ	6-床版02	抜け落ち

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	15	床版（張出部含む）	Ⅲ	6-床版03	床版ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	16	床版（張出部含む）	Ⅲ	6-床版03	床版ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	17	床版（張出部含む）	Ⅲ	6-床版03	床版ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	18	橋台・橋脚	Ⅱ	6-橋脚02	ひびわれ

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	19	橋台・橋脚	Ⅰ	6-橋脚01	剥離・鉄筋露出

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	20	橋台・橋脚	Ⅰ	6-橋脚02	漏水・遊離石灰

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	21	基礎	Ⅰ	6-基礎02	沈下・移動・傾斜

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	22	基礎	Ⅰ	6-基礎01	洗掘

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

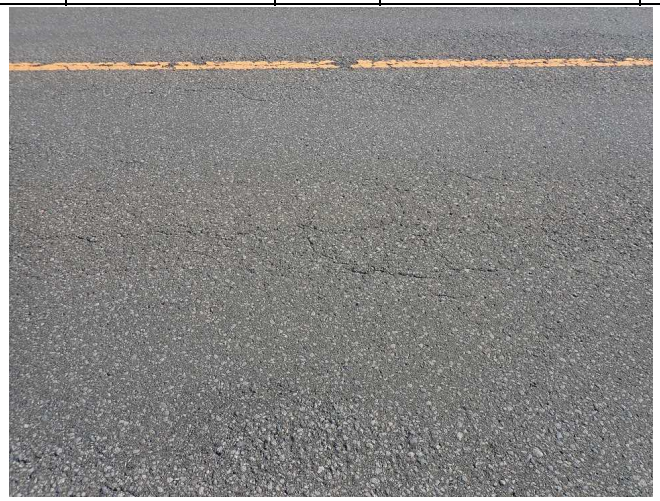
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	23	支承部	Ⅰ	6-支承部0201	支承部の機能障害

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	24	支承部	Ⅰ	6-支承部0101	沓座モルタルの変形・欠損

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
6	25	支承部	Ⅰ	6-支承部0201	漏水・滞水

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	1	舗装	Ⅰ	7-舗装02	舗装の異常



状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	2	伸縮装置	Ⅰ	7-伸縮装置01	遊間の異常

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	3	伸縮装置	Ⅰ	7-伸縮装置01	路面の凹凸

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	4	高欄・防護柵	Ⅰ	7-高欄01	腐食、変形・欠損など

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	5	地覆・中央分離帯	Ⅰ	7-地覆02	変形・欠損など

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	6	排水装置	Ⅱ	7-排水装置0201	土砂詰まり

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	7	主桁	Ⅰ	7-主桁01	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	8	主桁	Ⅰ	7-主桁01	亀裂

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	9	主桁	Ⅰ	7-主桁02	ゆるみ・脱落

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	10	主桁	Ⅰ	7-主桁01	破断

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	11	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	7-横桁09	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	12	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	7-横桁04	亀裂

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	13	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	7-横桁03	ゆるみ・脱落

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	14	横桁・縦桁・対傾構・横構	Ⅰ	7-横桁06	破断

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	15	床版（張出部含む）	Ⅰ	7-床版02	剥離・鉄筋露出

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	16	床版（張出部含む）	Ⅱ	7-床版02	漏水・遊離石灰

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	17	床版（張出部含む）	Ⅰ	7-床版02	抜け落ち

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

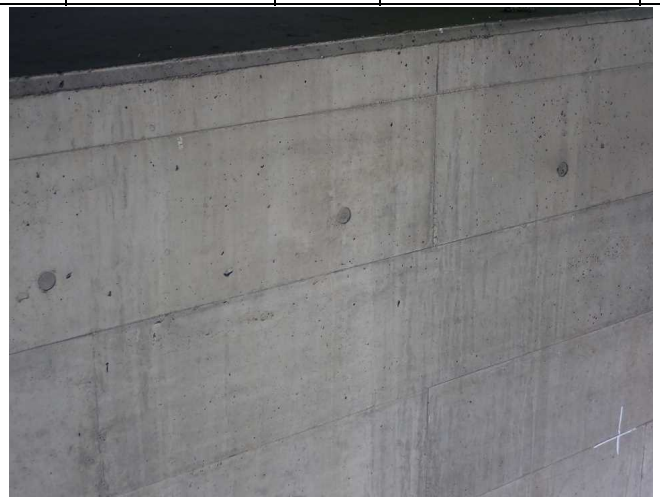
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	18	床版（張出部含む）	Ⅱ	7-床版01	床版ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	19	橋台・橋脚	Ⅱ	7-橋台02	ひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	20	橋台・橋脚	Ⅰ	7-橋台02	剥離・鉄筋露出

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	21	橋台・橋脚	Ⅰ	7-橋脚01	漏水・遊離石灰



状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	22	基礎	Ⅰ	7-基礎02	沈下・移動・傾斜

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	23	基礎	Ⅰ	7-基礎01	洗掘

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	24	支承部	Ⅰ	7-支承部0202	支承部の機能障害

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	25	支承部	Ⅰ	7-支承部0201	沓座モルタルの変形・欠損

状況写真（損傷状況）

様式（その2）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	26	支承部	Ⅱ	7-支承部0202	漏水・滞水

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	27	その他	Ⅱ	7-床版01	補修跡からひびわれ

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	28	その他	Ⅱ	7-伸縮装置01	止水材劣化・損傷

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	29	その他	Ⅱ	7-伸縮装置01	止水材劣化・損傷

状況写真（損傷状況）

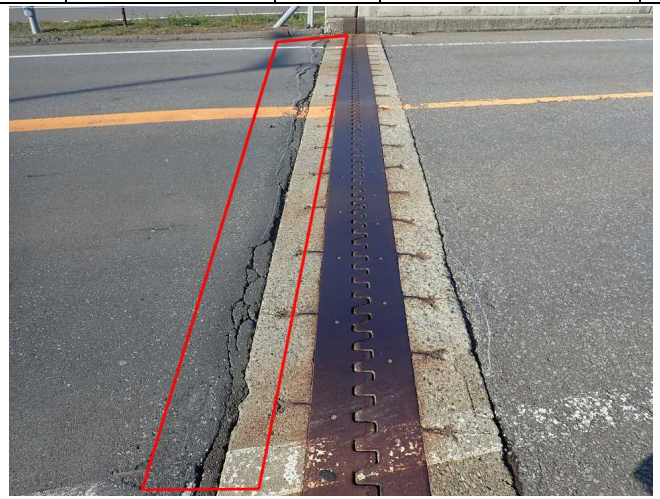
様式（その2）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	30	その他	Ⅰ	7-落橋防止装置0401	腐食

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7	31	その他	Ⅱ	7-舗装01～02(背面舗装)	ひびわれ・道路面の凹凸



径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類

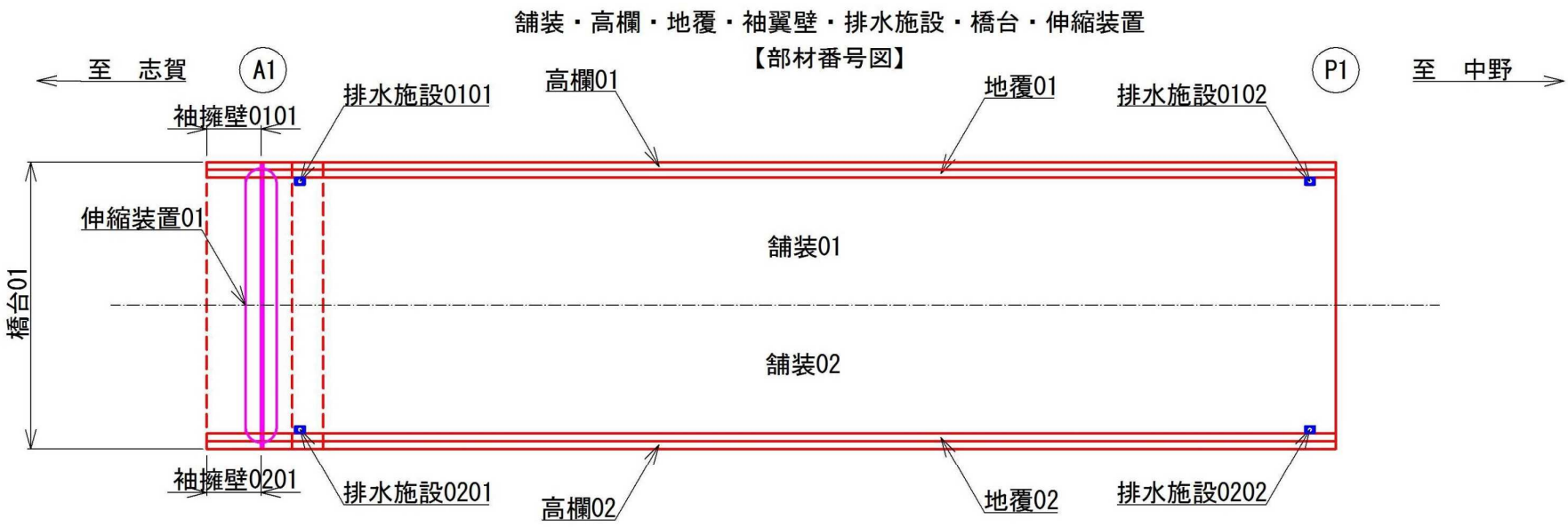
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類

様式（その3）

部材番号図	径間番号	1

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

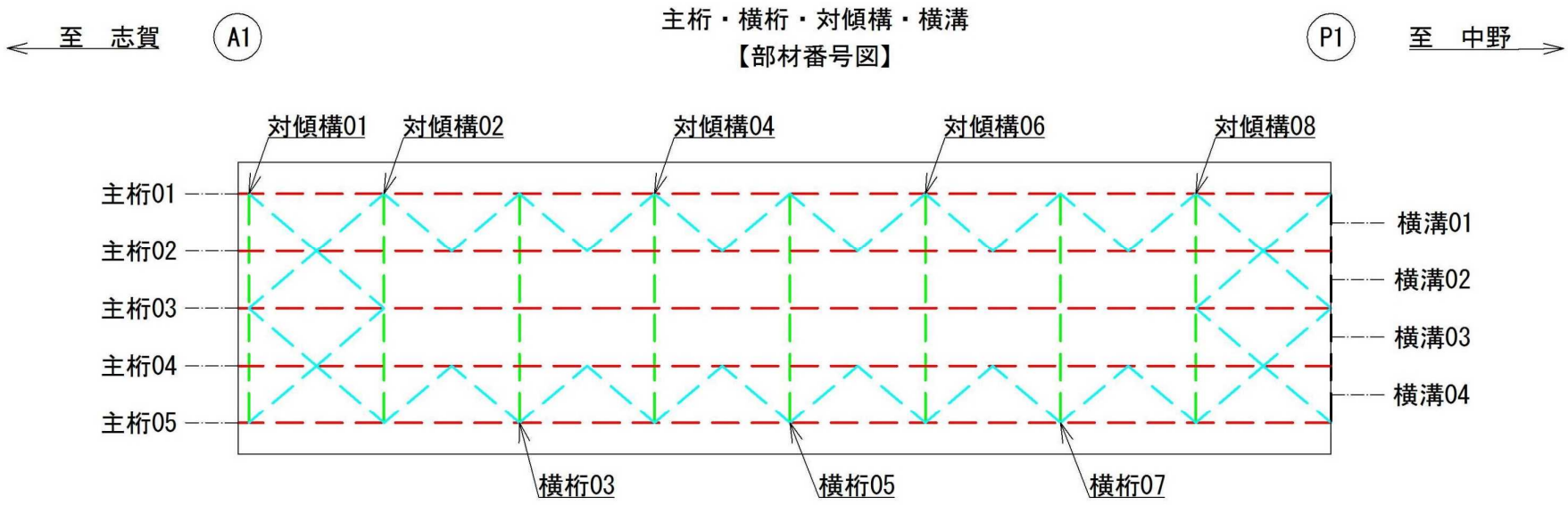


様式（その3）

部材番号図	径間番号	1

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

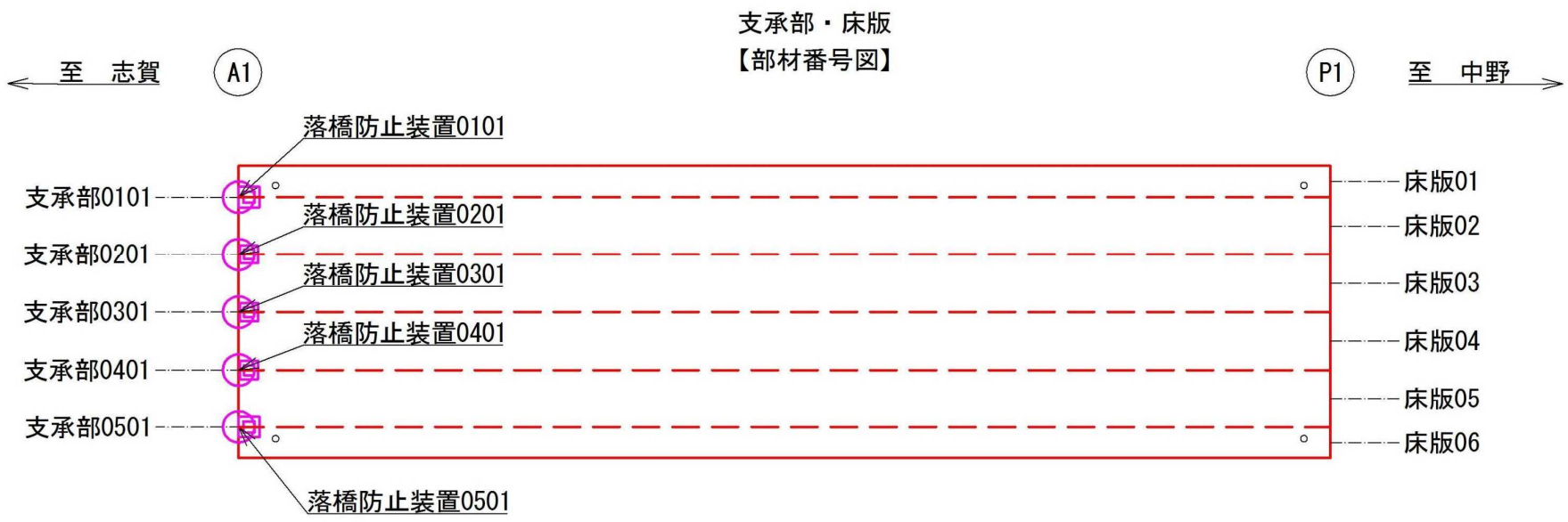


様式（その3）

部材番号図	径間番号	1

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図



様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	1

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36°　45′　14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138°　21′　12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に○を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	1-舗装01	1			
2		伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とパラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。		1-伸縮装置01	2			
3				路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	1-伸縮装置01	3			
4		高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	1-高欄01	4			
5		地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	1-地覆02	5			
6		排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。			1-排水装置0102	6			
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	1-主桁01(Ⅰ),1-主桁05(Ⅱ)	7,8			
8				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	1-主桁05	9			
9				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		1-主桁05	10			
10				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	1-主桁03	11			
11			横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		1-横構04	12			
12				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		1-対傾構06	13			
13				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		1-対傾構01	14			
14				破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		1-対傾構02	15			

様式（その4－2）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	1

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16	上部工	鋼	床版※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17	上部工	鋼	床版※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18	上部工	鋼	床版※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	1-床版01	16			
28	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		1-床版01	17			
29	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	1-床版03	18			
30	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	［漏水・遊離石灰が無い場合］ ・［方向］一方向，［間隔］問わない，［幅］0.2mm以下 ・［方向］格子状，［間隔］0.5～0.2m，［幅］0.2mm以下 ［漏水・遊離石灰が有る場合］ ・［方向］一方向または格子状，［間隔］問わない，［幅］0.2mm以下	［漏水・遊離石灰が無い場合］部分的な角落ち有 ・［方向］一方向，［間隔］問わない，［幅］0.2mm以上 ・［方向］格子状，［間隔］0.2m以下，［幅］0.2mm以上 ［漏水・遊離石灰が有る場合］部分的な角落ち有 ・［方向］一方向または格子状，［間隔］問わない，［幅］0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	1-床版03	19,20			
31	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	1

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準（該当する項目に○を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33	下部工	鋼	橋脚※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34	下部工	鋼	橋脚※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35	下部工	鋼	橋脚※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	1-橋台01	21,22			
37	下部工	コンクリート	橋脚※	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	1-橋台01	23			
38	下部工	コンクリート	橋脚※	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		1-橋脚02	24			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	1-基礎01	25			
40	基礎※			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	1-基礎02	26			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	1-支承部0501	27			
42	支承部※			沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			1-支承部0301	28			
43	支承部※			漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			1-支承部0201	29			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	―	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　伸縮装置01　土砂堆積　（判定区分Ⅱ）						1-伸縮装置01	30			
46	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　高欄01　遊離石灰　（判定区分Ⅱ）						1-高欄01	31			
47	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　地覆01　ひびわれ・遊離石灰　（判定区分Ⅱ）						1-地覆01	32			
48	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　橋台01　表面劣化　（判定区分Ⅰ）						1-橋台01	33			
49	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　落橋防止装置0101　腐食　（判定区分Ⅰ）						1-落橋防止装置0101	34			
50	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　伸縮装置01　ひびわれ・欠損　（判定区分Ⅰ）						1-伸縮装置01	35			
51	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　舗装01～02（背面舗装）　ひびわれ・道路面の凹凸　（判定区分Ⅰ）						1-舗装01～02（背面舗装）	36			

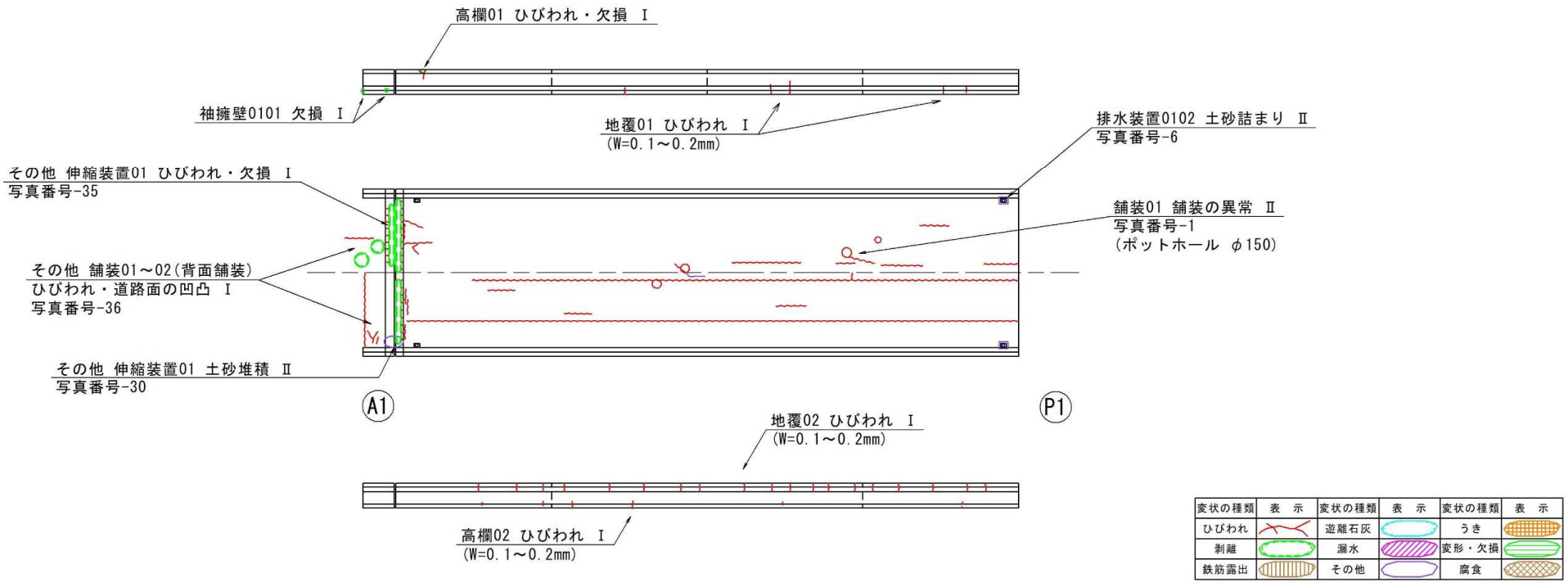
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	1

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

路面



健全性の診断

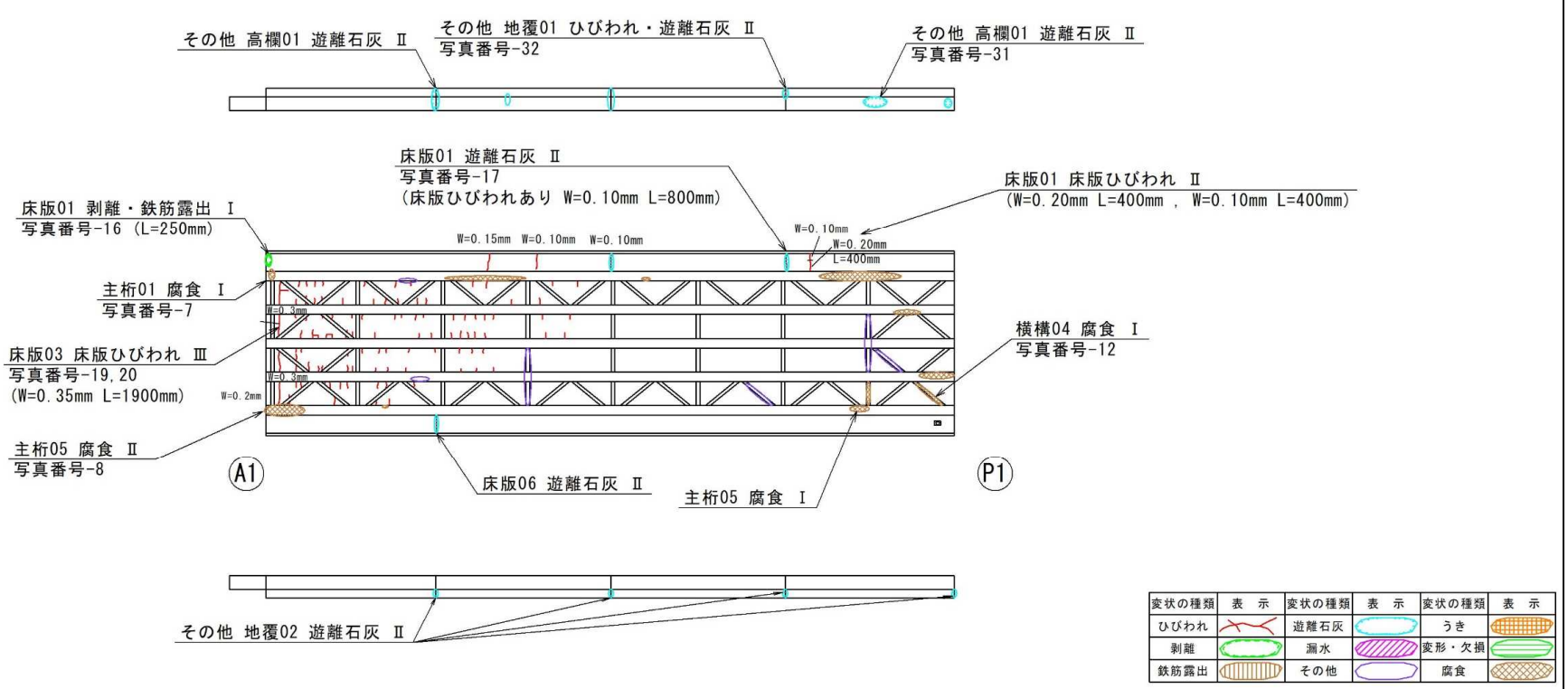
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	1-主桁05 写真8	－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅲ	Ⅱ	床版ひびわれ	1-床版03 写真19,20	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真21,22	－		
支承部		Ⅲ	Ⅲ	支承部の機能障害	1-支承部0501 写真27	－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常,土砂詰まり	1-排水装置0102 写真6	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	1

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	1-主桁05 写真8	－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅲ	Ⅱ	床版ひびわれ	1-床版03 写真19,20	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真21,22	－		
支承部		Ⅲ	Ⅲ	支承部の機能障害	1-支承部0501 写真27	－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常,土砂詰まり	1-排水装置0102 写真6	－		

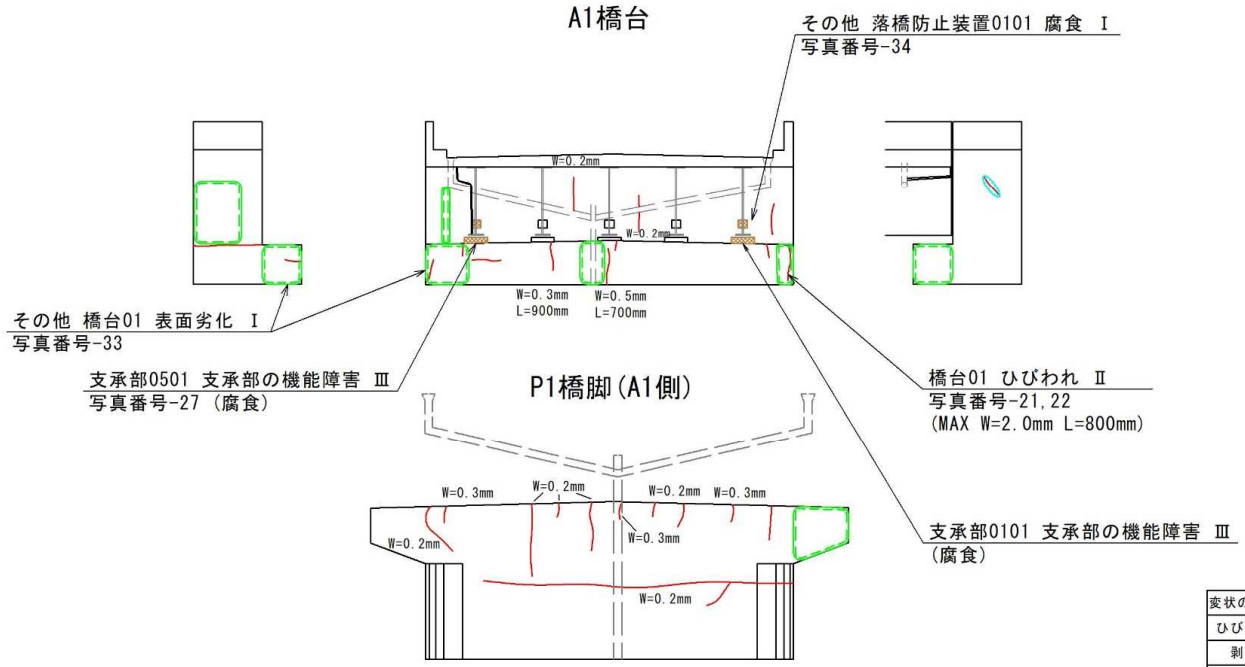
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	1

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

A1橋台
P1橋脚(A1側)



変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	1-主桁05 写真8	－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅲ	Ⅱ	床版ひびわれ	1-床版03 写真19,20	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真21,22	－		
支承部		Ⅲ	Ⅲ	支承部の機能障害	1-支承部0501 写真27	－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常,土砂詰まり	1-排水装置0102 写真6	－		

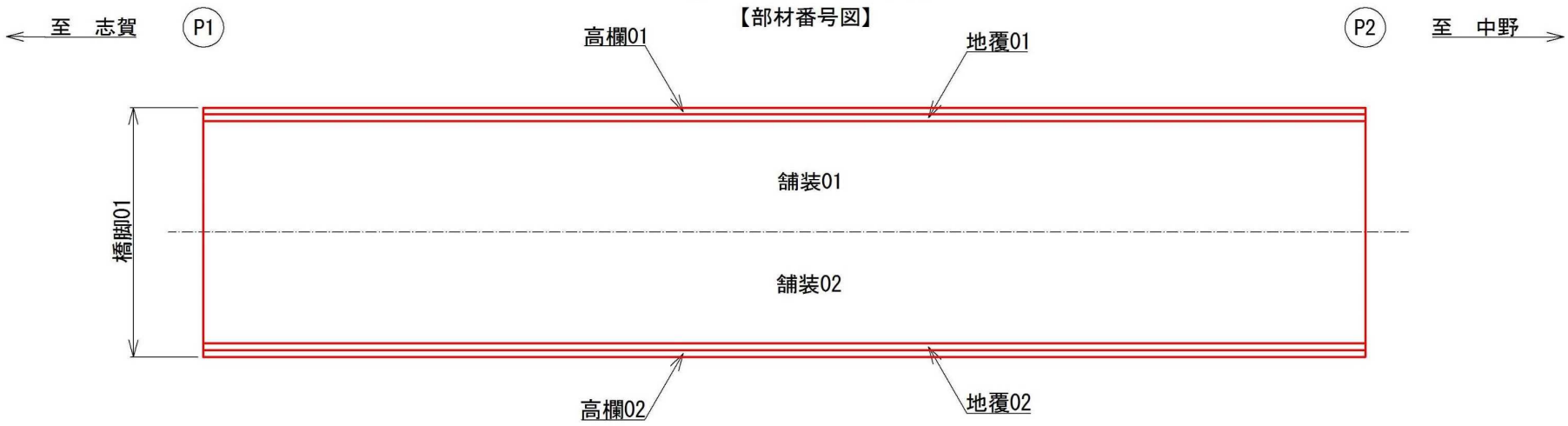
様式（その3）

部材番号図	径間番号	2

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

舗装・高欄・地覆・橋脚
【部材番号図】



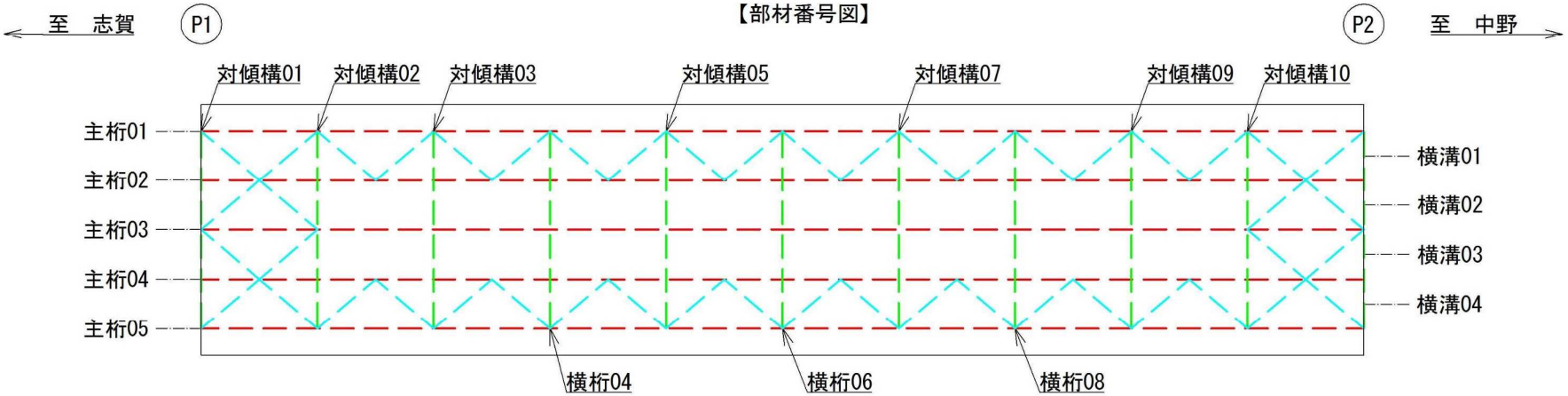
様式（その3）

部材番号図	径間番号	2

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

主桁・横桁・対傾構・横溝・床版
【部材番号図】



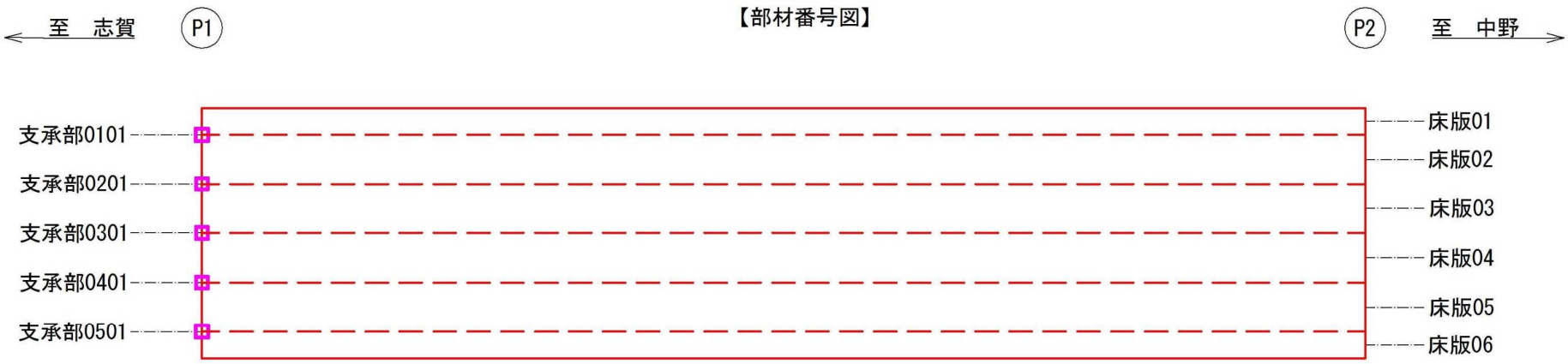
様式（その3）

部材番号図	径間番号	2

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

支承部・床版
【部材番号図】



様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	2

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	2-舗装02	1,2			
2		伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とパラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。						
3				路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。					
4		高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	2-高欄02	3			
5		地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	2-地覆01	4			
6		排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。							
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	2-主桁05	5			
8				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	2-主桁04	6			
9				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		2-主桁05	7			
10				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	2-主桁02	8			
11			横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		2-対傾構01	9			
12				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		2-横構01	10			
13				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		2-横桁08	11			
14				破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		2-対傾構02	12			

様式（その４－２）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	2

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度 36° 45′ 14″ 経度 138° 21′ 12″		13 中野	点検年月日	20200917

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19		コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23			横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27			床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	2-床版05	13			
28				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		2-床版06	14			
29				抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	2-床版03	15			
30				床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・[方向]一方向,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以下 ・[方向]格子状,[間隔]0.5～0.2m,[幅]0.2mm以下 [漏水・遊離石灰が有る場合] ・[方向]一方向または格子状,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・[方向]一方向,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以上 ・[方向]格子状,[間隔]0.2m以下,[幅]0.2mm以上 [漏水・遊離石灰が有る場合]部分的な角落ち有 ・[方向]一方向または格子状,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	2-床版06	16			
31				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	2

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33	下部工	鋼	橋脚※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34	下部工	鋼	橋脚※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35	下部工	鋼	橋脚※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	2-橋脚01	17			
37	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	2-橋脚01	18			
38	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		2-橋脚02	19			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	2-基礎02	20			
40	基礎※			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	2-基礎01	21			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	2-支承部0501	22			
42	支承部※			沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			2-支承部0201	23			
43	支承部※			漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			2-支承部0301	24			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	－	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　主桁01　鳥の巣　（判定区分Ⅱ）						2-主桁01	25			
46	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など			[損傷状況]										
47	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など			[損傷状況]										
48	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など			[損傷状況]										
49	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など			[損傷状況]										
50	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など			[損傷状況]										
51	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など			[損傷状況]										

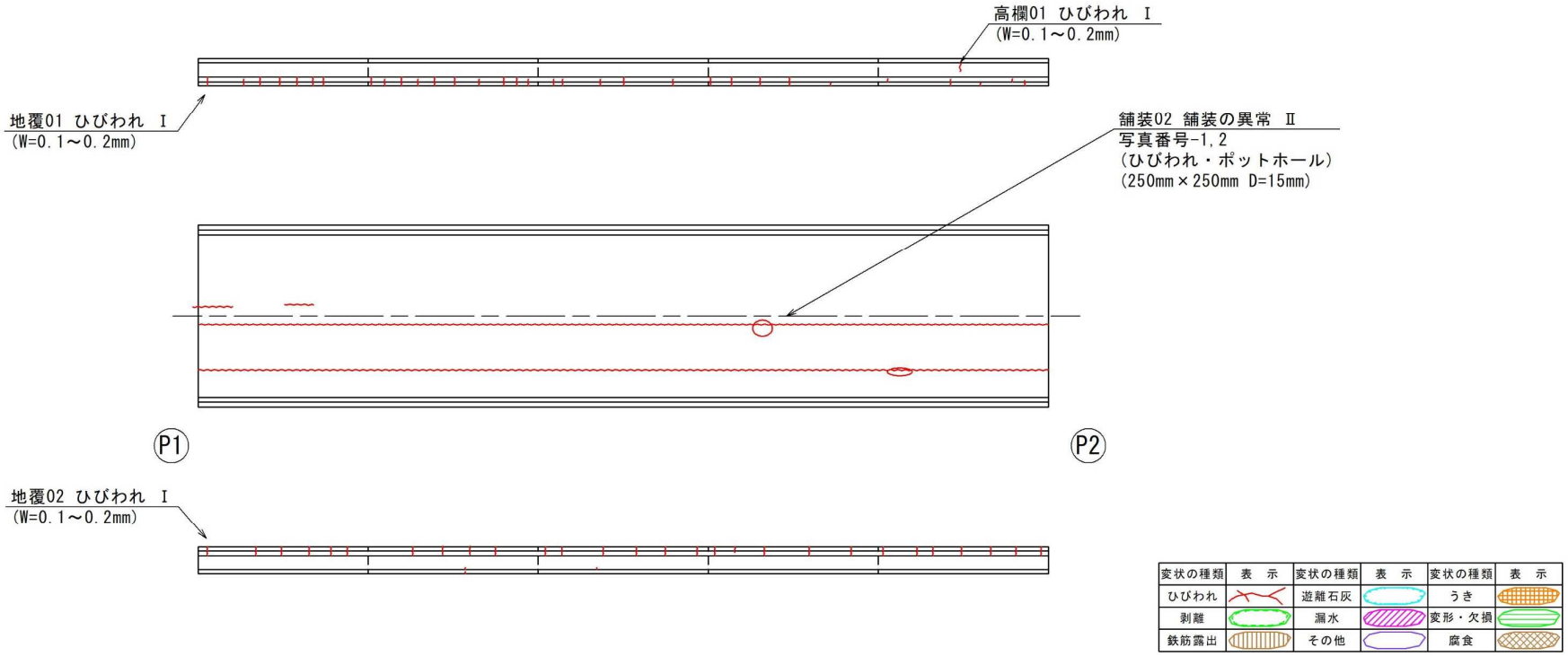
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	2

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

路面



健全性の診断

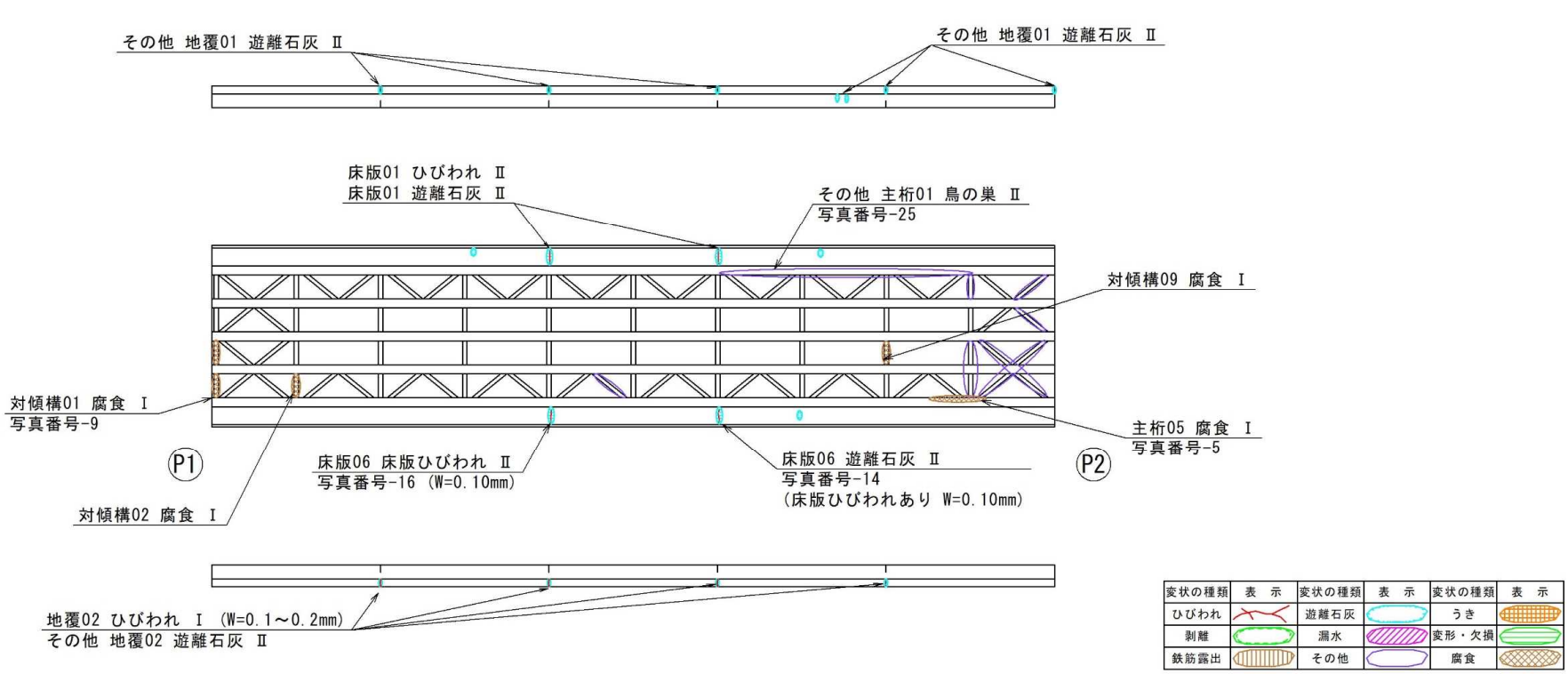
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	2-床版06 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚01 写真17	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常,鳥の巣	2-舗装02,2-主桁01 写真1,2,25	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	2

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	2-床版06 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚01 写真17	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常,鳥の巣	2-舗装02,2-主桁01 写真1,2,25	－		

様式（その5）

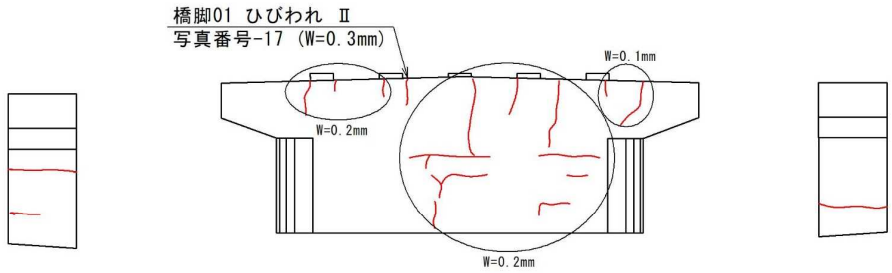
健全性の診断	径 間 番 号	2

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

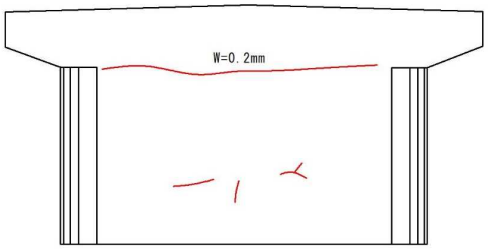
損傷図作成用メモ用紙

P1橋脚(P2側)
P2橋脚(P1側)

P1橋脚(P2側)



P2橋脚(P1側)



変状の種類	表　示	変状の種類	表　示	変状の種類	表　示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

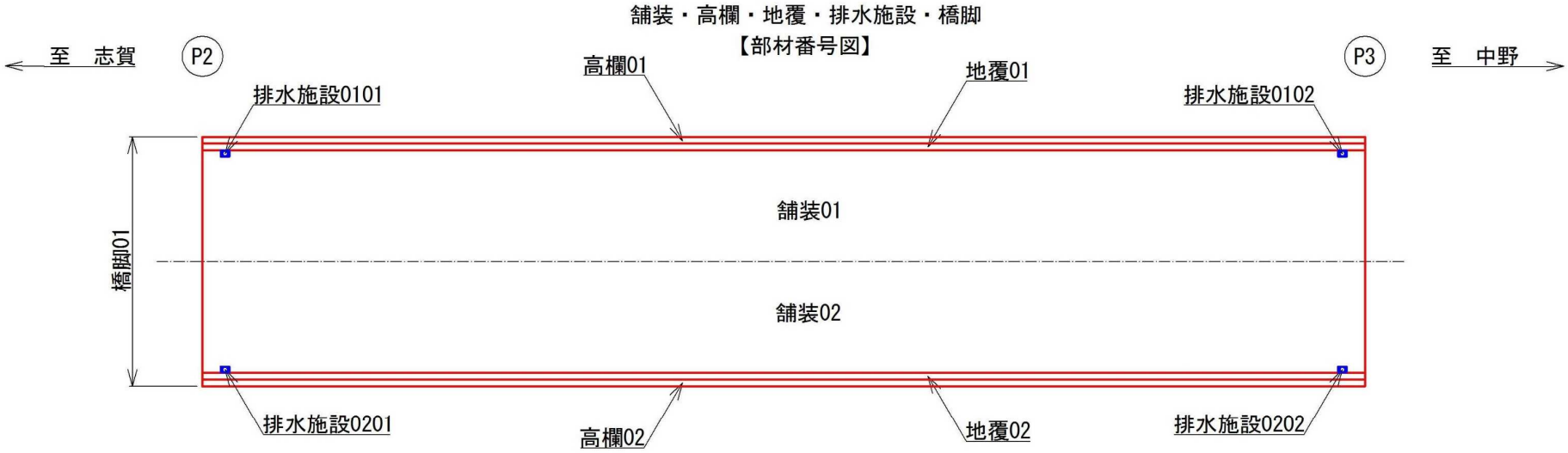
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	2-床版06 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚01 写真17	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常,鳥の巣	2-舗装02,2-主桁01 写真1,2,25	－		

様式（その3）

部材番号図	径間番号	3

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図



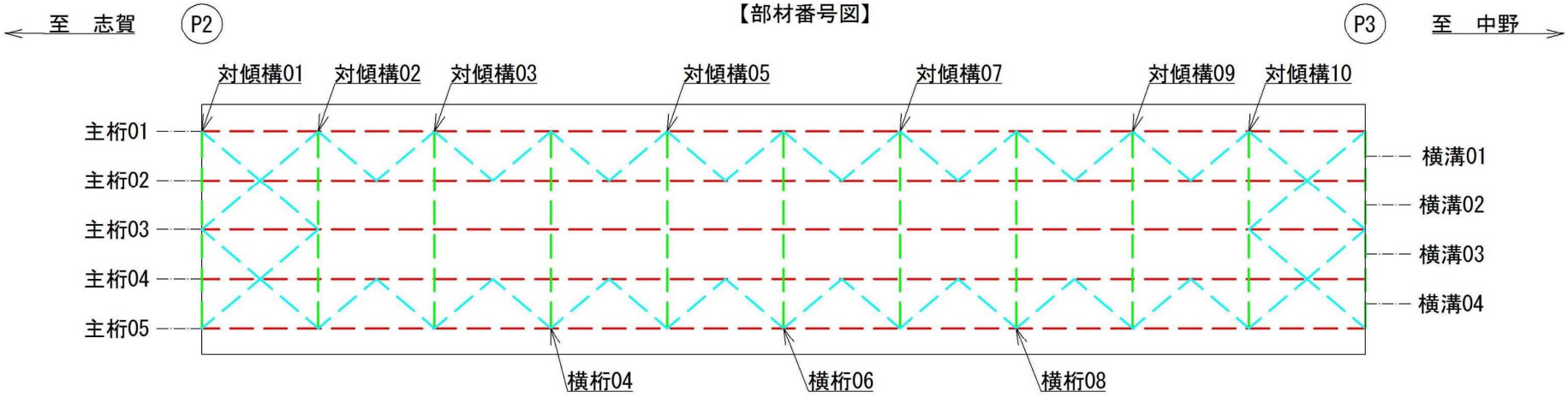
様式（その3）

部材番号図	径間番号	3

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

主桁・横桁・対傾構・横溝・床版
【部材番号図】



様式（その3）

部材番号図	径間番号	3

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

支承部・床版
【部材番号図】

様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	3

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準 （該当する項目に〇を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	3-舗装02	1			
2		伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とバラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。						
3				路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。					
4		高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	3-高欄01	2			
5		地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	3-地覆02	3			
6		排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。			3-排水装置0201	4			
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	3-主桁02	5			
8				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	3-主桁05	6			
9				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		3-主桁04	7			
10				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	3-主桁01	8			
11			横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		3-対傾構01	9			
12				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		3-横桁06	10			
13				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		3-対傾構09	11			
14				破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		3-横構01	12			

様式（その4－2）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	3

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19		コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23			横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27			床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	3-床版04	13			
28				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		3-床版01	14			
29				抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	3-床版05	15			
30				床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・[方向]一方向,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以下 ・[方向]格子状,[間隔]0.5～0.2m,[幅]0.2mm以下 [漏水・遊離石灰が有る場合] ・[方向]一方向または格子状,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・[方向]一方向,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以上 ・[方向]格子状,[間隔]0.2m以下,[幅]0.2mm以上 [漏水・遊離石灰が有る場合]部分的な角落ち有 ・[方向]一方向または格子状,[間隔]問わない,[幅]0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	3-床版02	16			
31				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	3

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

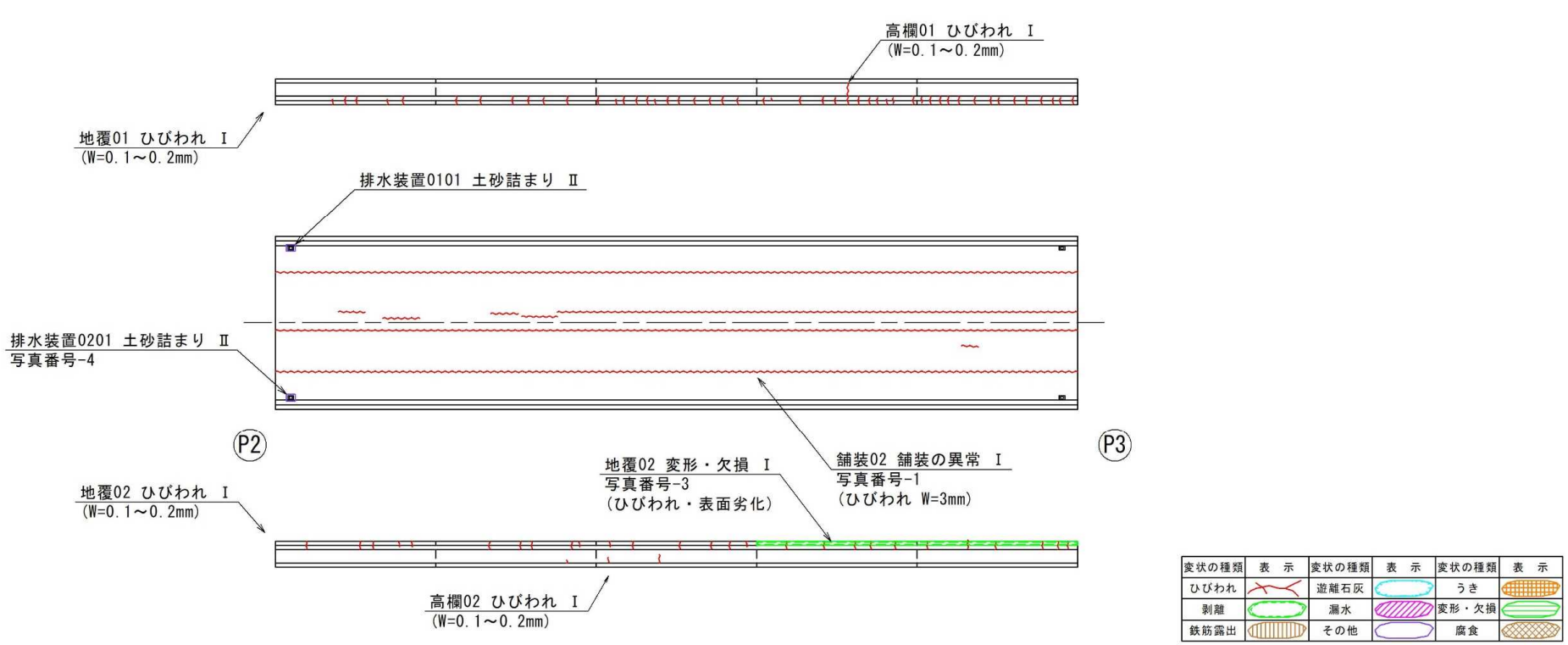
点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に○を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36		コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	3-橋脚01	17,18			
37				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	3-橋脚02	19			
38				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		3-橋脚01	20			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	3-基礎01	21			
40				洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	3-基礎02	22			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	3-支承部0501	23			
42				沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			3-支承部0101	24			
43				漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			3-支承部0301	25			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	－	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　主桁01　鳥の巣　（判定区分Ⅱ）						3-主桁01	26			
46					[損傷状況]　橋脚02　表面劣化　（判定区分Ⅰ）						3-橋脚02	27			
47					[損傷状況]　橋脚01　表面劣化　（判定区分Ⅰ）						3-橋脚01	28			
48					[損傷状況]										
49					[損傷状況]										
50					[損傷状況]										
51					[損傷状況]										

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	3

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

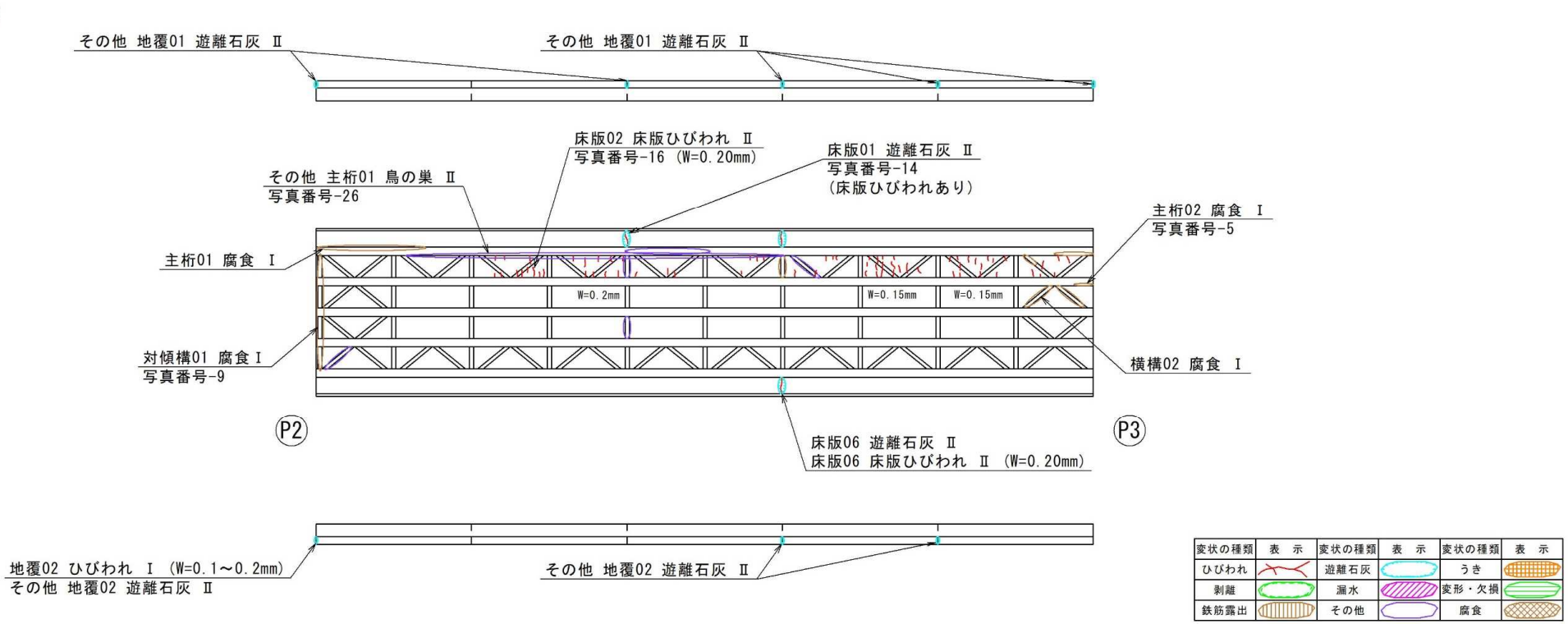
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋脚01 写真17,18	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	土砂詰まり,鳥の巣	3-排水装置0201,3-主桁01 写真4,26	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	3

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

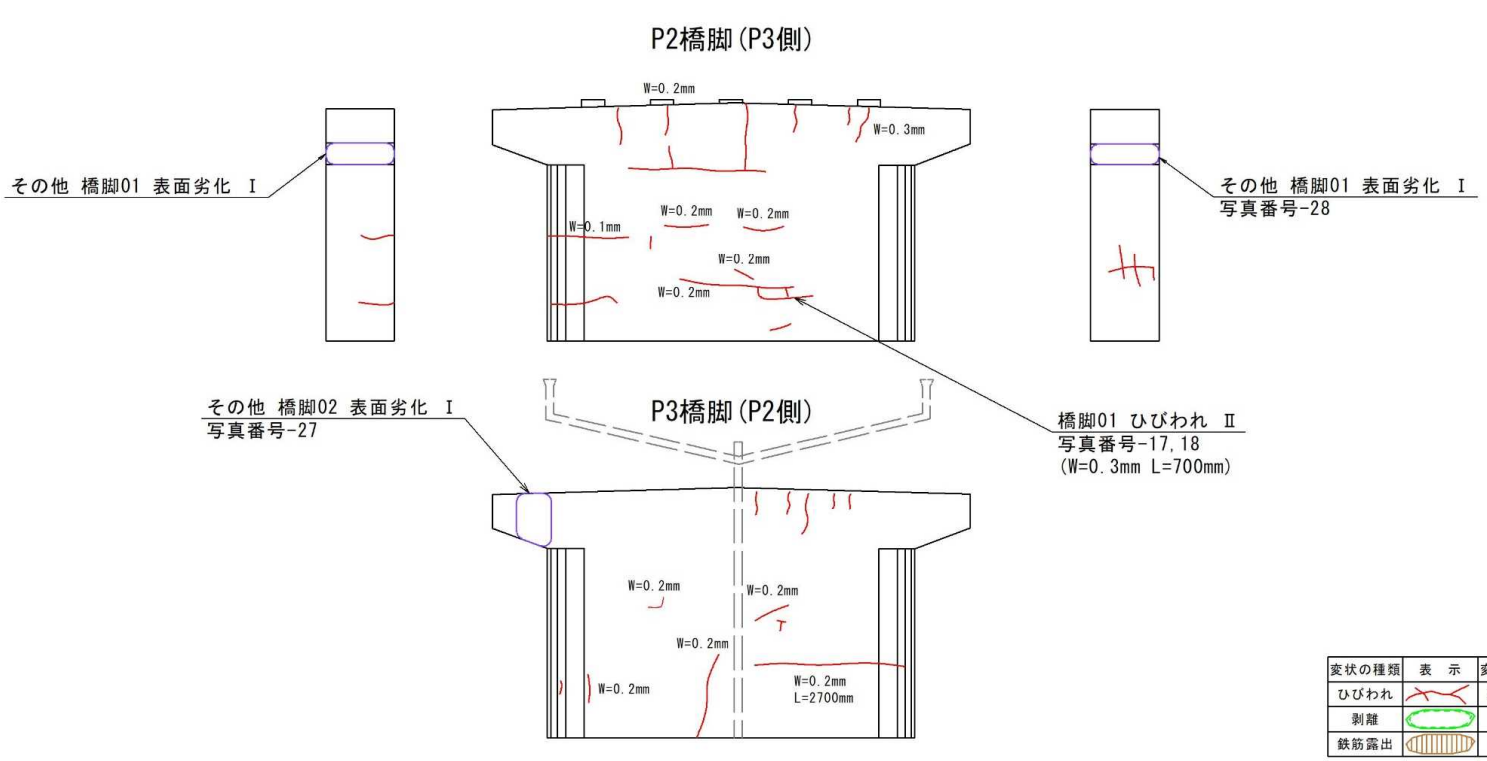
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋脚01 写真17,18	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	土砂詰まり,鳥の巣	3-排水装置0201,3-主桁01 写真4,26	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	3

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋脚01 写真17,18	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	土砂詰まり,鳥の巣	3-排水装置0201,3-主桁01 写真4,26	－		

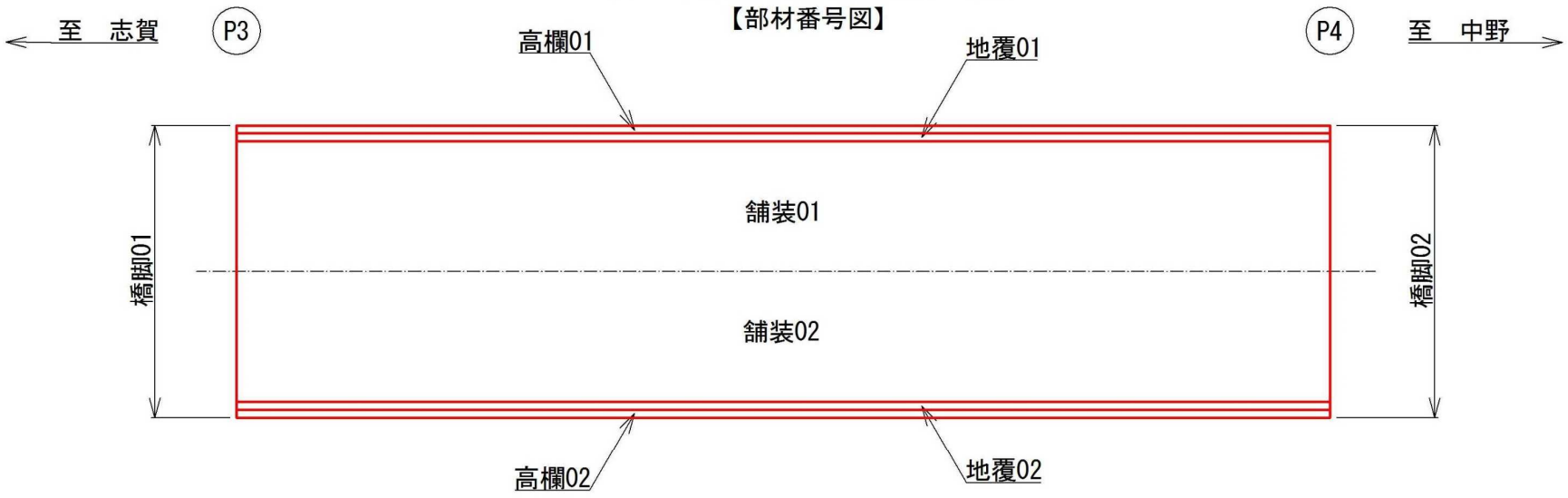
様式（その3）

部材番号図	径間番号	4

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

舗装・高欄・地覆・排水施設・橋脚
【部材番号図】



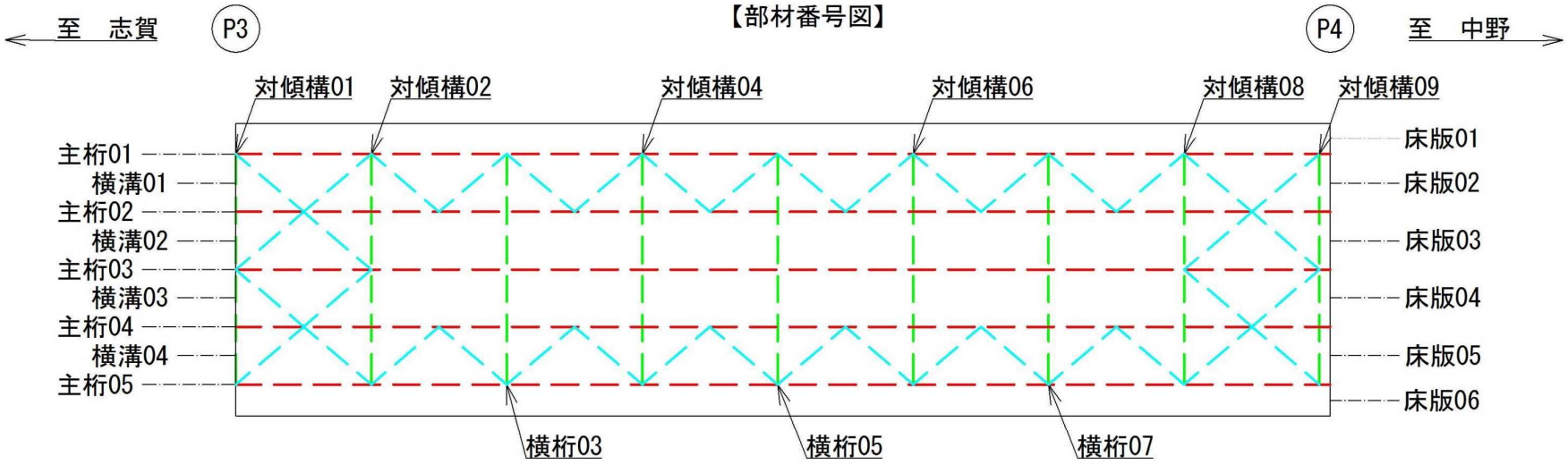
様式（その3）

部材番号図	径間番号	4

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

主桁・横桁・対傾構・横溝・床版
【部材番号図】



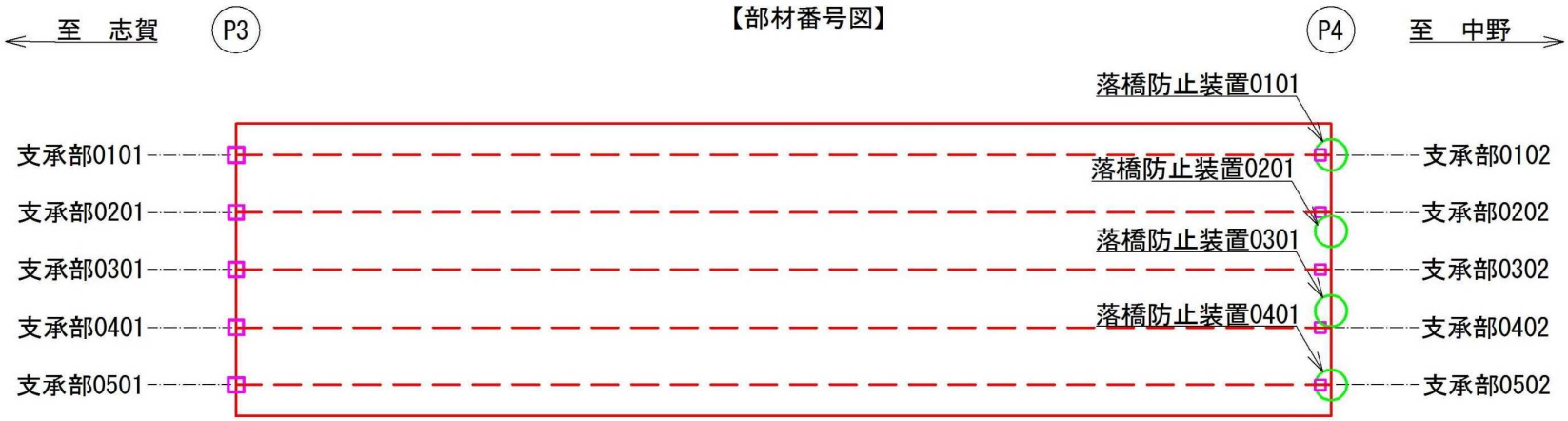
様式（その3）

部材番号図	径間番号	4

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

支承部・落橋防止装置
【部材番号図】



様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36°　45′　14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138°　21′　12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	4-舗装01	1			
2		伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とバラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。						
3				路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。					
4		高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	4-高欄01	2			
5		地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	4-地覆02	3,4			
6		排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。							
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	4-主桁01	5			
8				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	4-主桁02	6			
9				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		4-主桁03	7			
10				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	4-主桁05	8			
11			横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		4-横構03	9			
12				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		4-横構01	10			
13				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		4-横桁07	11			
14				破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		4-対傾構04	12			

様式（その4－2）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36°　45′　14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138°　21′　12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19		コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23			横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27			床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	4-床版06	13			
28				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		4-床版06	14			
29				抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	4-床版03	15			
30				床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	［漏水・遊離石灰が無い場合］ ・［方向］一方向,［間隔］問わない,［幅］0.2mm以下 ・［方向］格子状,［間隔］0.5～0.2m,［幅］0.2mm以下 ［漏水・遊離石灰が有る場合］ ・［方向］一方向または格子状,［間隔］問わない,［幅］0.2mm以下	［漏水・遊離石灰が無い場合］部分的な角落ち有 ・［方向］一方向,［間隔］問わない,［幅］0.2mm以上 ・［方向］格子状,［間隔］0.2m以下,［幅］0.2mm以上 ［漏水・遊離石灰が有る場合］部分的な角落ち有 ・［方向］一方向または格子状,［間隔］問わない,［幅］0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	4-床版02	16			
31				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36°　45′　14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138°　21′　12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33	下部工	鋼	橋脚※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34	下部工	鋼	橋脚※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35	下部工	鋼	橋脚※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	4-橋脚02	17,18			
37	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	4-橋脚01	19			
38	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		4-橋脚02	20			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	4-基礎02	21			
40	基礎※			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	4-基礎01	22			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	4-支承部0102	23			
42	支承部※			沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			4-支承部0402	24			
43	支承部※			漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			4-支承部0301	25			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	―	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　地覆01　遊離石灰　（判定区分Ⅱ）						4-地覆01	26			
46	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
47	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
48	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
49	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
50	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
51	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										

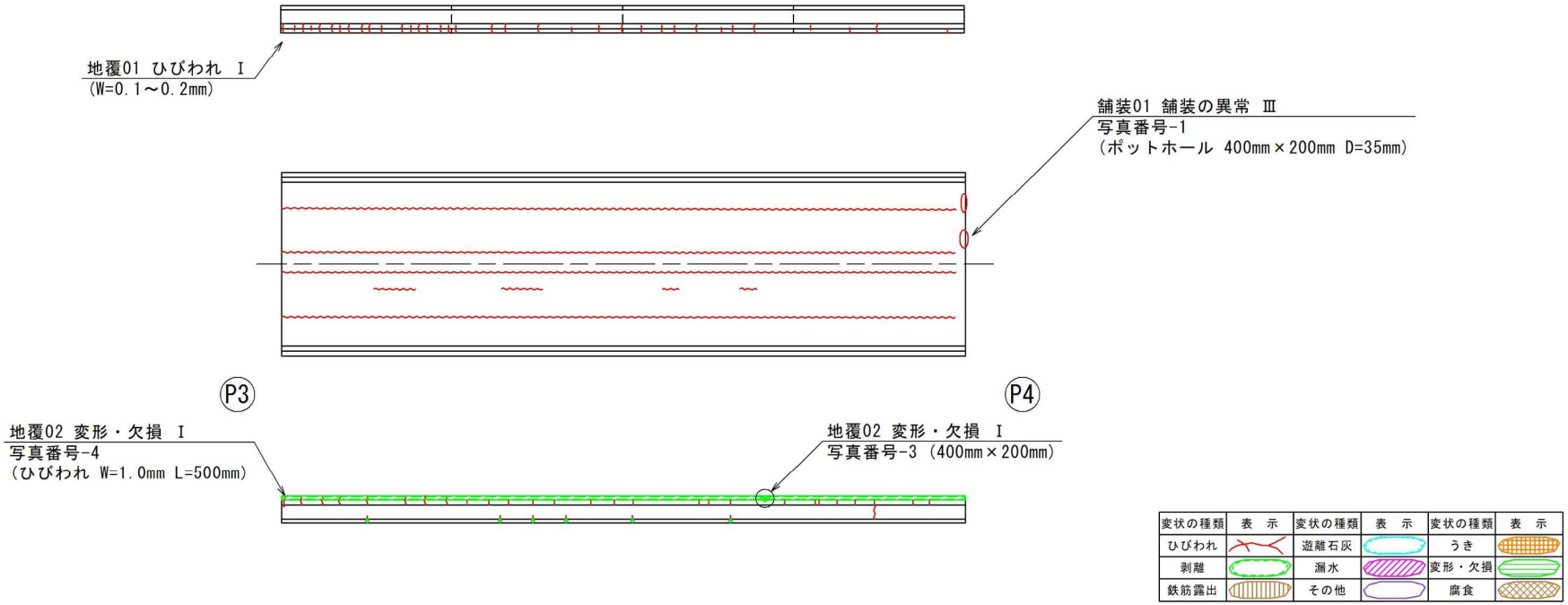
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

路面



健全性の診断

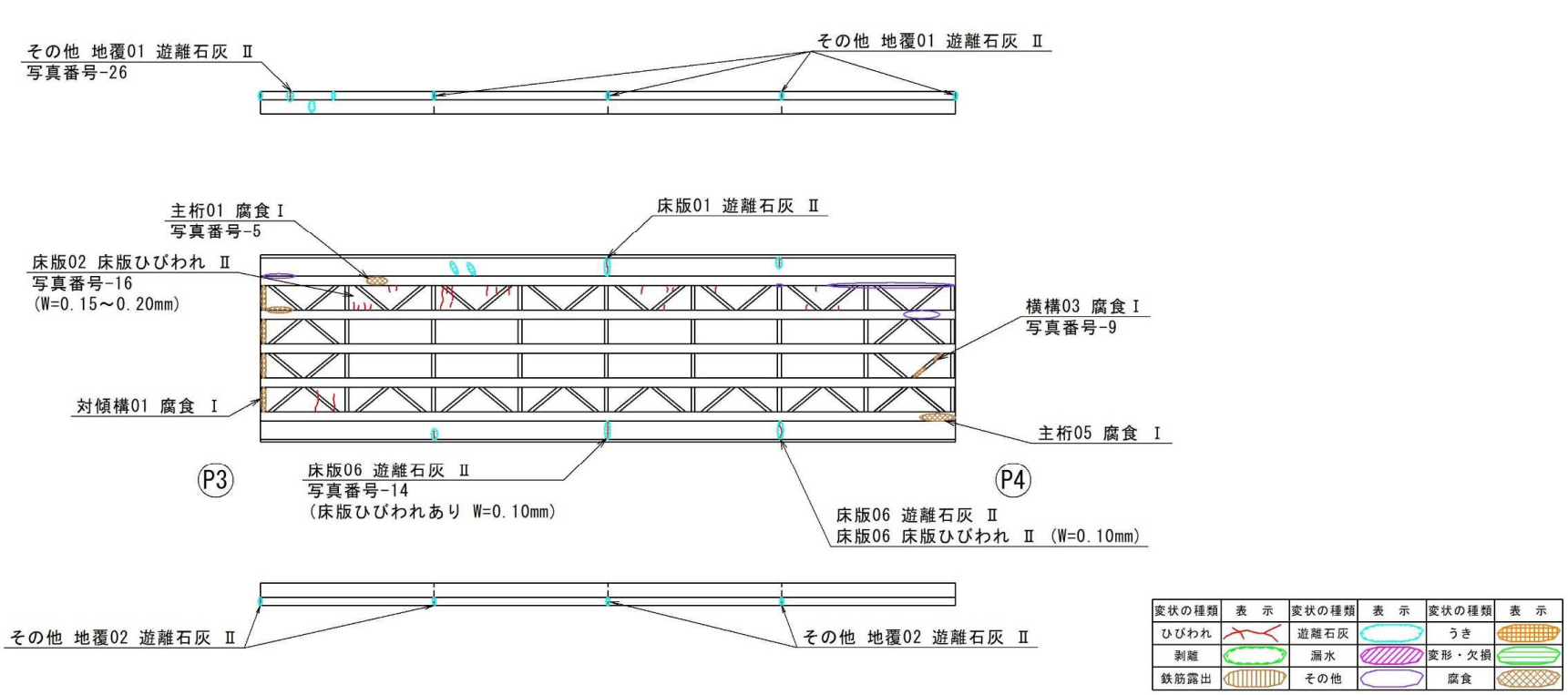
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	4-床版06,4-床版02 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	4-橋脚02 写真17,18	－		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害	4-支承部0102 写真23	－		
その他		Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	4-舗装01 写真1	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	4-床版06,4-床版02 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	4-橋脚02 写真17,18	－		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害	4-支承部0102 写真23	－		

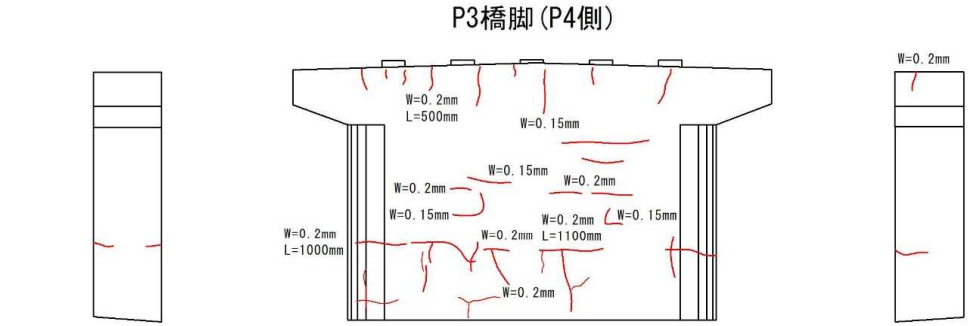
様式（その5）

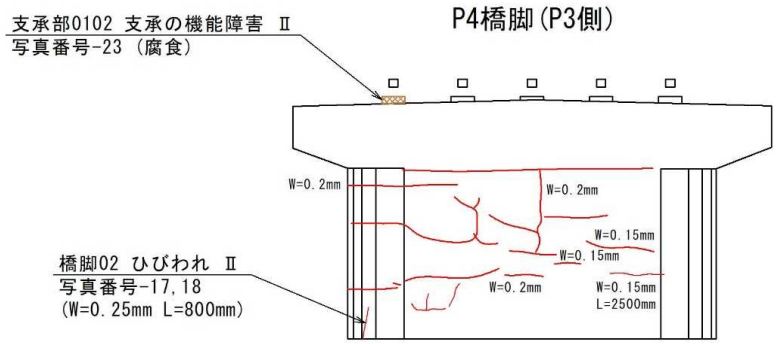
健全性の診断	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度 36° 45′ 14″ 経度 138° 21′ 12″		13 中野	点検年月日	20200917

その他	Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	4-舗装01 写真1	－		

P3橋脚（P4側）
P4橋脚（P3側）





変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	4-床版06,4-床版02 写真14,16	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	4-橋脚02 写真17,18	－		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害	4-支承部0102 写真23	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	4

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

	その他	Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	4-舗装01 写真1	―		

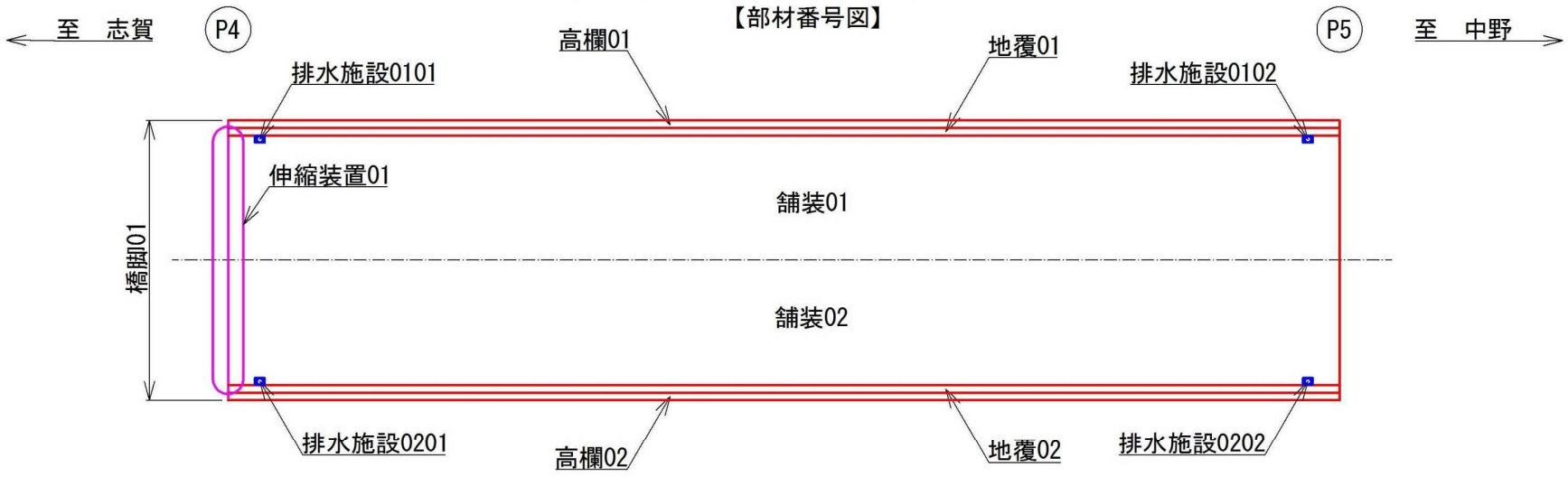
様式（その3）

部材番号図	径間番号	5

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

舗装・高欄・地覆・排水施設・伸縮装置・橋脚
【部材番号図】



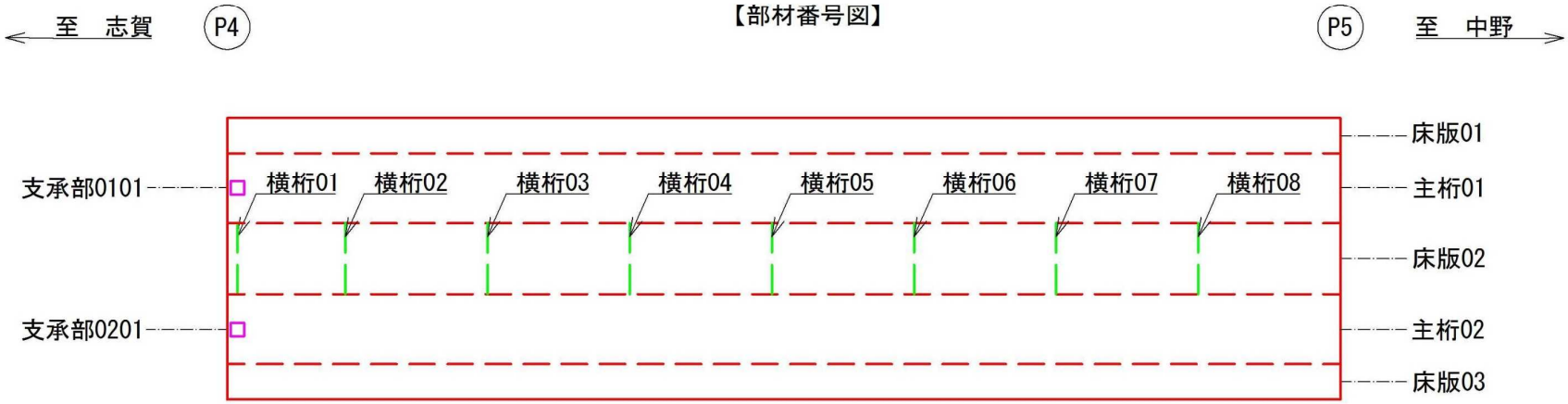
様式（その3）

部材番号図	径間番号	5

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

主桁・横桁・床版・支承部
【部材番号図】



様式（その3）

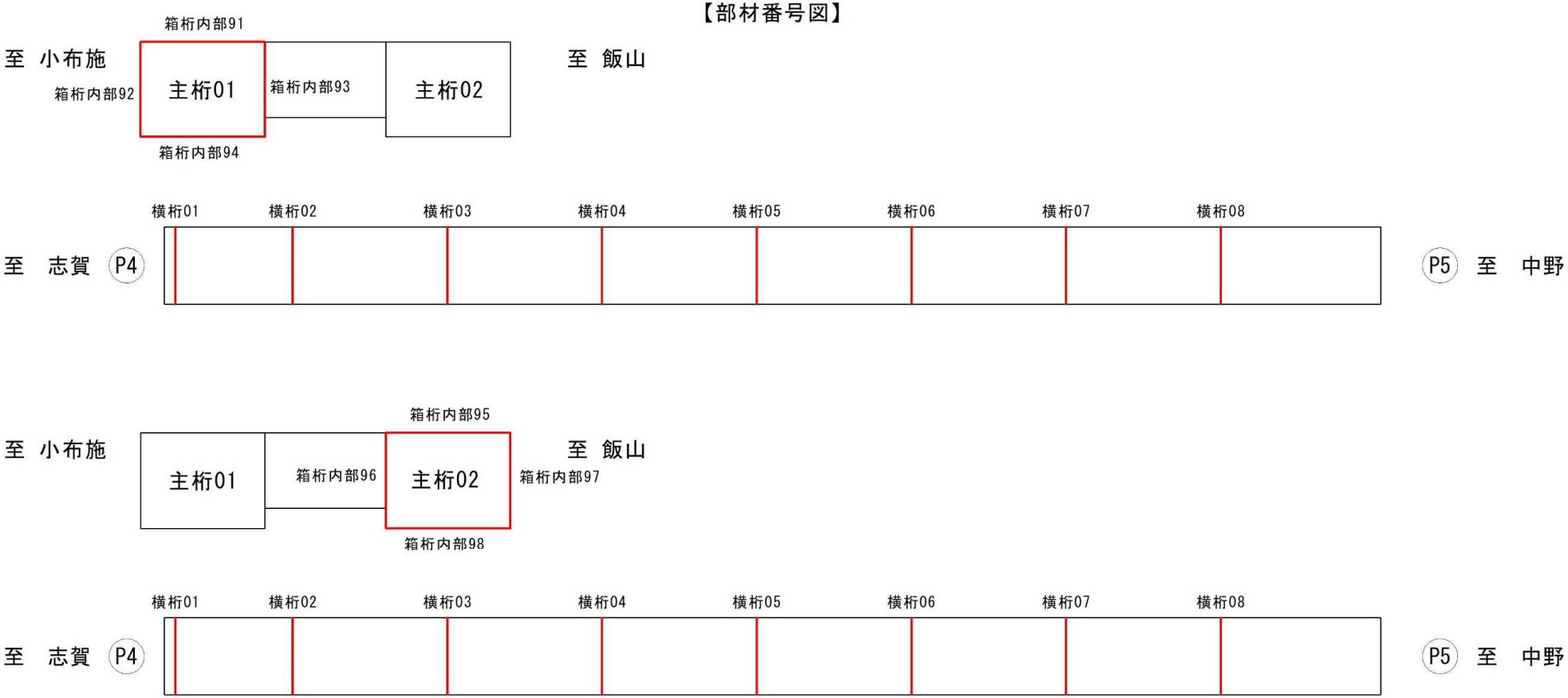
部材番号図	径間番号	5

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

箱桁内部（未点検）

【部材番号図】



様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	5

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準 （該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	5-舗装01,5-舗装02	1,2			
2	路面・路上	伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とパラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。		5-伸縮装置01	3			
3	路面・路上	伸縮装置		路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	5-伸縮装置01	4			
4	路面・路上	高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	5-高欄01	5			
5	路面・路上	地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	5-地覆02	6			
6	路面・路上	排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。			5-排水装置0102	7			
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	5-主桁02	8			
8	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	5-主桁02	9			
9	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		5-主桁02	10			
10	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	5-主桁01	11			
11	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		5-横桁01	12			
12	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		5-横桁06	13			
13	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		5-横桁04	14			
14	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		5-横桁03	15			

様式（その4－2）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	5

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に○を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19		コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23			横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27			床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	5-床版02	16			
28				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		5-床版01	17			
29				抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	5-床版02	18			
30				床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・〔方向〕一方向,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以下 ・〔方向〕格子状,〔間隔〕0.5～0.2m,〔幅〕0.2mm以下 [漏水・遊離石灰が有る場合] ・〔方向〕一方向または格子状,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以上 ・〔方向〕格子状,〔間隔〕0.2m以下,〔幅〕0.2mm以上 [漏水・遊離石灰が有る場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向または格子状,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	5-床版01	19			
31				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	5

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33	下部工	鋼	橋脚※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34	下部工	鋼	橋脚※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35	下部工	鋼	橋脚※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	5-橋脚01,5-橋脚02	20,21			
37	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	5-橋脚02	22			
38	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		5-橋脚02	23			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	5-基礎01	24			
40	基礎※			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	5-基礎02	25			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	5-支承部0201	26			
42	支承部※			沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			5-支承部0101	27			
43	支承部※			漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			5-支承部0101	28			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	―	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　高欄01　遊離石灰　（判定区分Ⅱ）						5-高欄01	29			
46	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　地覆01　遊離石灰（ひびわれあり）（判定区分Ⅱ）						5-地覆01	30			
47	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　地覆02　遊離石灰　（判定区分Ⅱ）						5-地覆02	31			
48	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　橋脚01　伸縮装置からの漏水　（判定区分Ⅱ）						5-橋脚01	32,33			
49	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　橋脚02　表面劣化　（判定区分Ⅰ）						5-橋脚02	34			
50	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　伸縮装置01　土砂堆積　（判定区分Ⅱ）						5-伸縮装置01	35			
51	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										

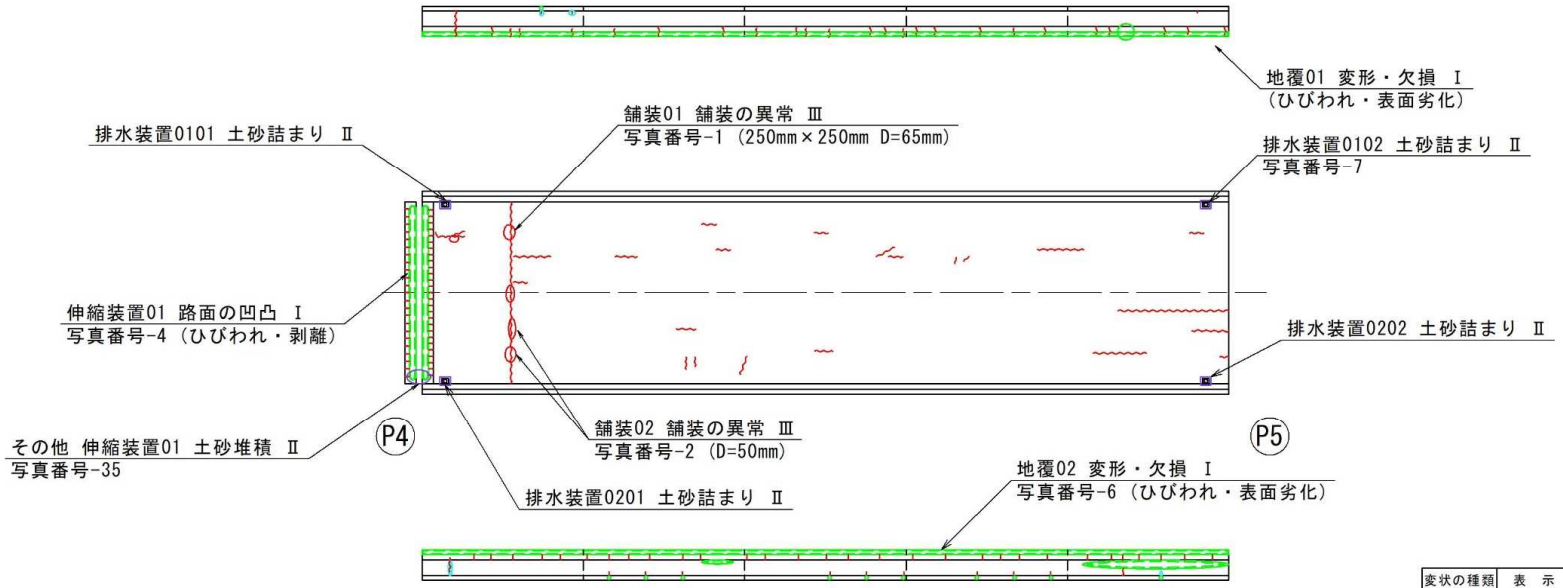
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	5

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

路面



変状の種類	表　示	変状の種類	表　示	変状の種類	表　示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	5-床版01 写真17,19	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	5-橋脚01,5-橋脚02 写真20,21	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	5-舗装01,5-舗装02 写真1,2	－		

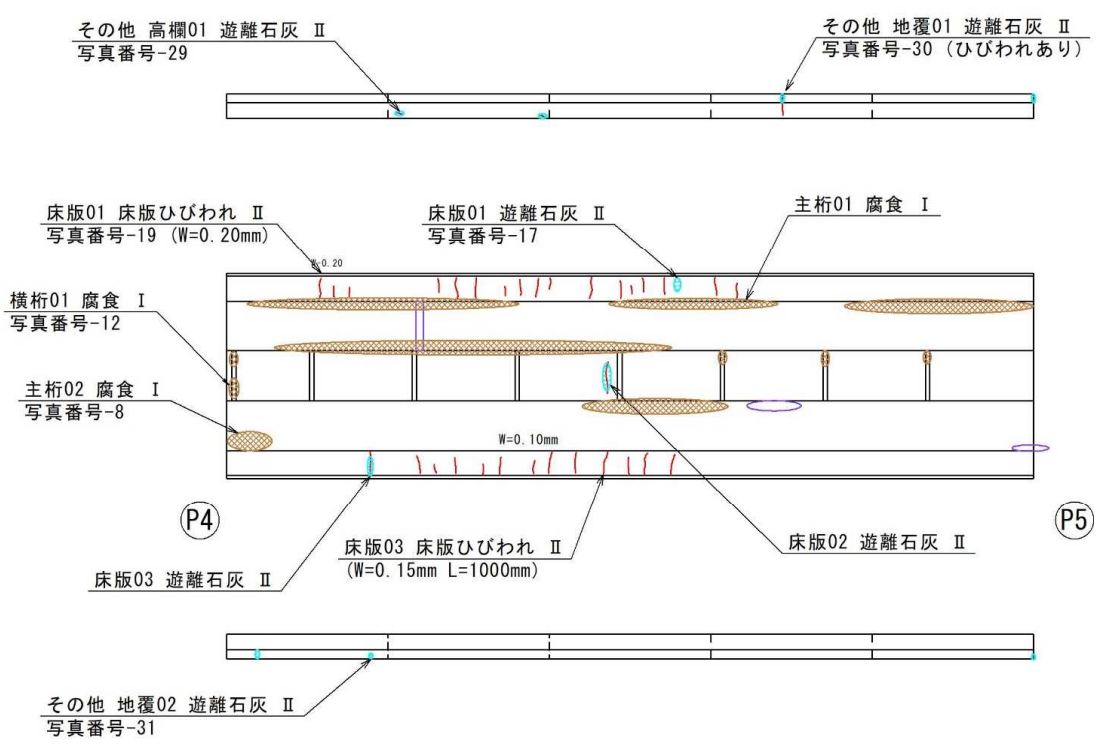
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	5

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

桁下



変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

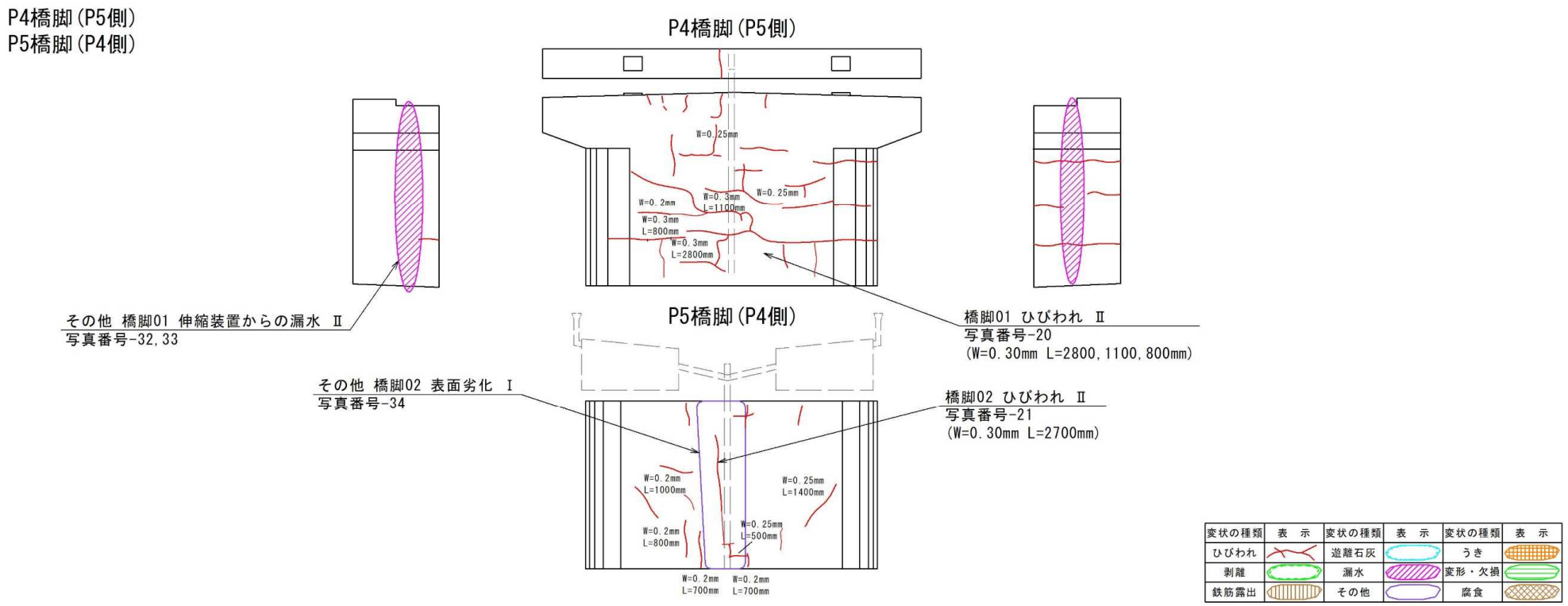
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	5-床版01 写真17,19	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	5-橋脚01,5-橋脚02 写真20,21	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	5-舗装01,5-舗装02 写真1,2	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	5

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

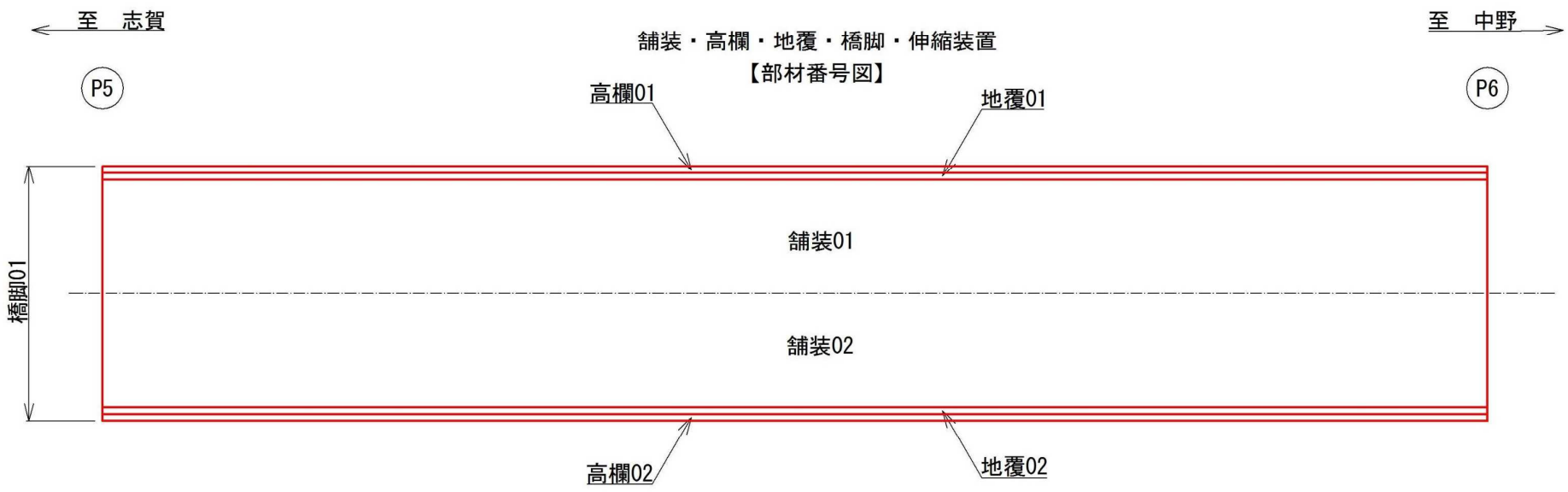
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	5-床版01 写真17,19	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	5-橋脚01,5-橋脚02 写真20,21	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	5-舗装01,5-舗装02 写真1,2	－		

様式（その3）

部材番号図	径間番号	6

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図



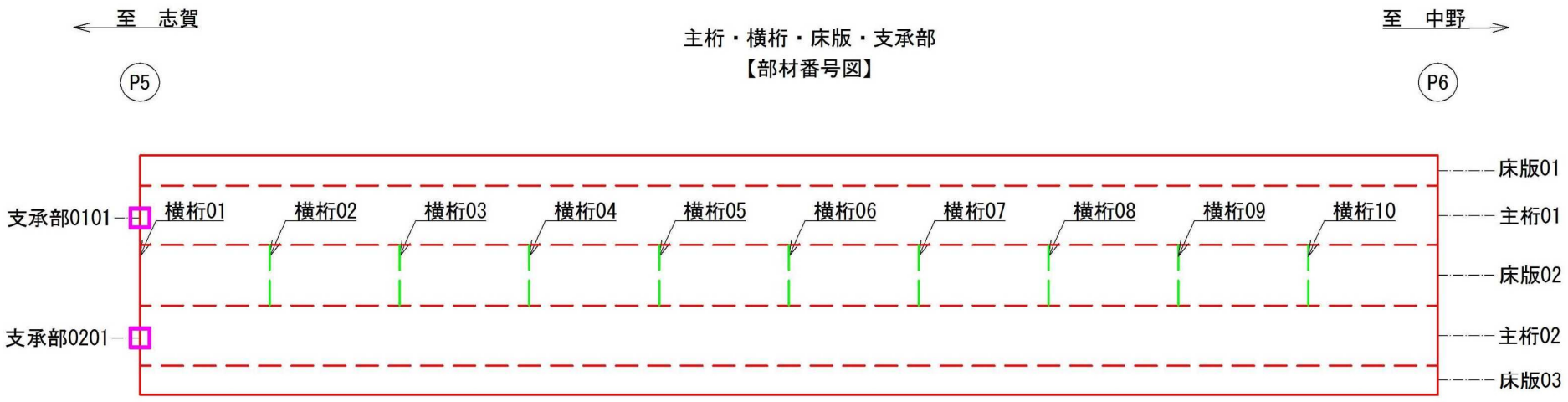
様式（その3）

部材番号図	径間番号	6

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

主桁・横桁・床版・支承部
【部材番号図】



様式（その3）

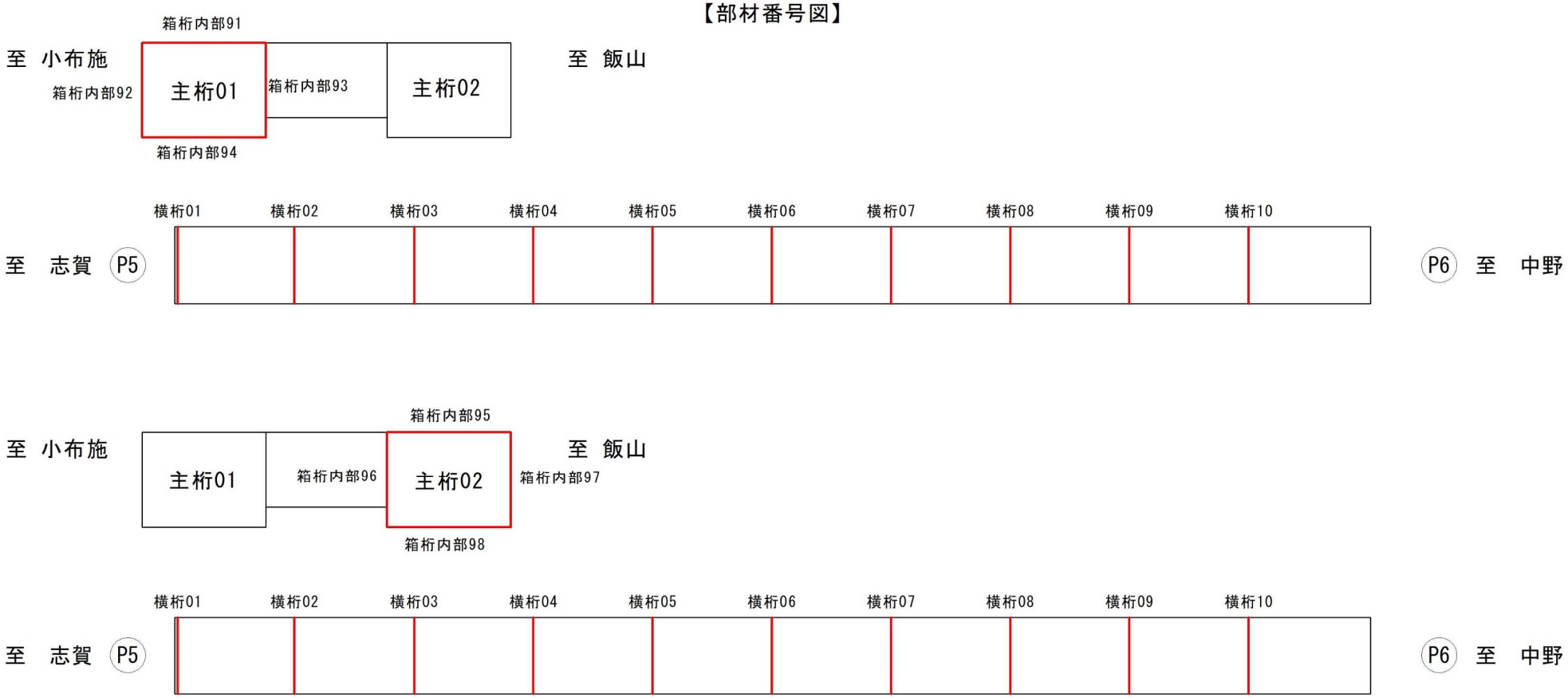
部材番号図	径間番号	6

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

箱桁内部（未点検）

【部材番号図】



様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	6

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準 （該当する項目に○を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	6-舗装01	1			
2	路面・路上	伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とパラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。						
3	路面・路上			路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。					
4	路面・路上	高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	6-高欄02	2			
5	路面・路上	地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	6-地覆01	3			
6	路面・路上	排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。							
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	6-主桁01	4			
8	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	6-主桁02	5			
9	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		6-主桁01	6			
10	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	6-主桁02	7			
11	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		6-横桁06	8			
12	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		6-横桁10	9			
13	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		6-横桁09	10			
14	上部工	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		6-横桁05	11			

様式（その4－2）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	6

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に○を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16	上部工	鋼	床版※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17	上部工	鋼	床版※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18	上部工	鋼	床版※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22	上部工	コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む）縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む）縦桁	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む）縦桁	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26	上部工	コンクリート	横桁※ （PC定着部含む）縦桁	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	6-床版03	12			
28	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		6-床版03	13			
29	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	6-床版02	14			
30	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・〔方向〕一方向,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以下 ・〔方向〕格子状,〔間隔〕0.5～0.2m,〔幅〕0.2mm以下 [漏水・遊離石灰が有る場合] ・〔方向〕一方向または格子状,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以上 ・〔方向〕格子状,〔間隔〕0.2m以下,〔幅〕0.2mm以上 [漏水・遊離石灰が有る場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向または格子状,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	6-床版03	15,16,17			
31	上部工	コンクリート	床版※ （張出部，PC定着部含む）	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	6

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準 （該当する項目に○を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
32	上部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36		コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	6-橋脚02	18			
37				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	6-橋脚01	19			
38				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		6-橋脚02	20			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	6-基礎02	21			
40				洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	6-基礎01	22			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	6-支承部0201	23			
42				沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			6-支承部0101	24			
43				漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			6-支承部0201	25			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	－	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
46					[損傷状況]										
47					[損傷状況]										
48					[損傷状況]										
49					[損傷状況]										
50					[損傷状況]										
51					[損傷状況]										

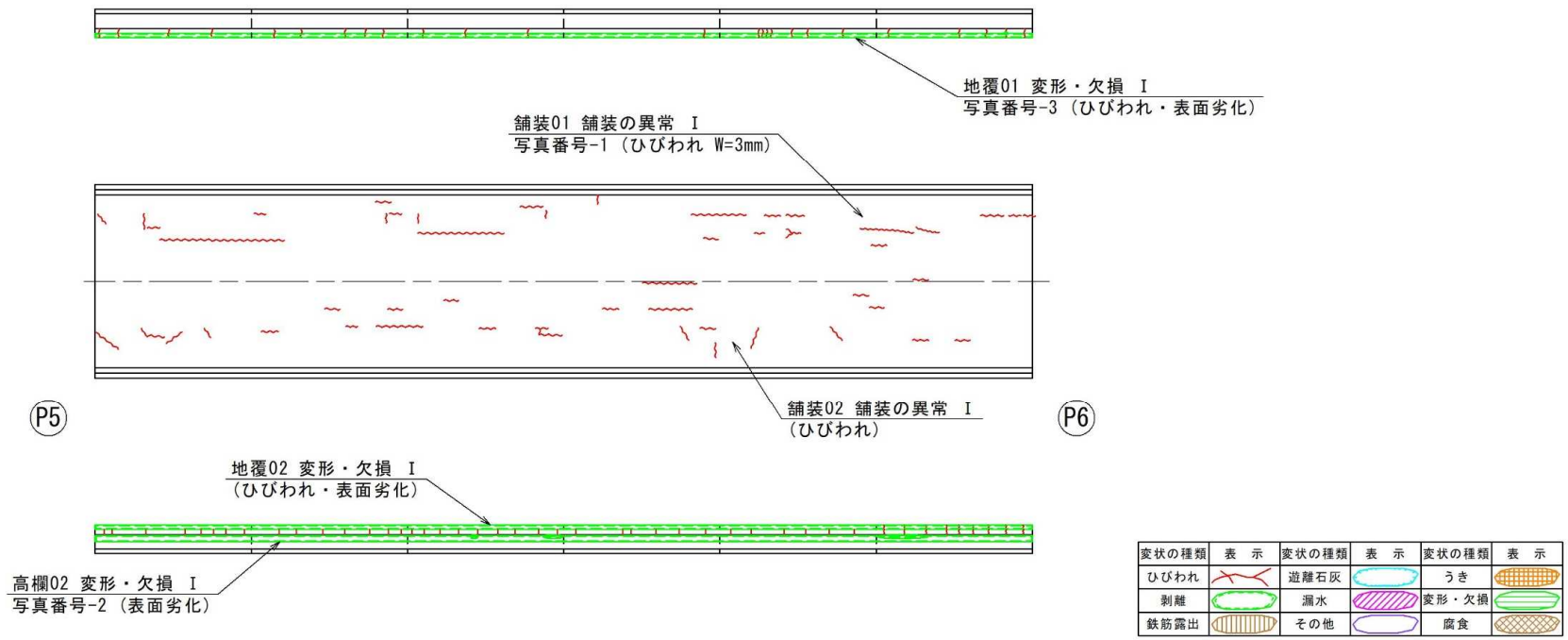
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	6

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

路面



健全性の診断

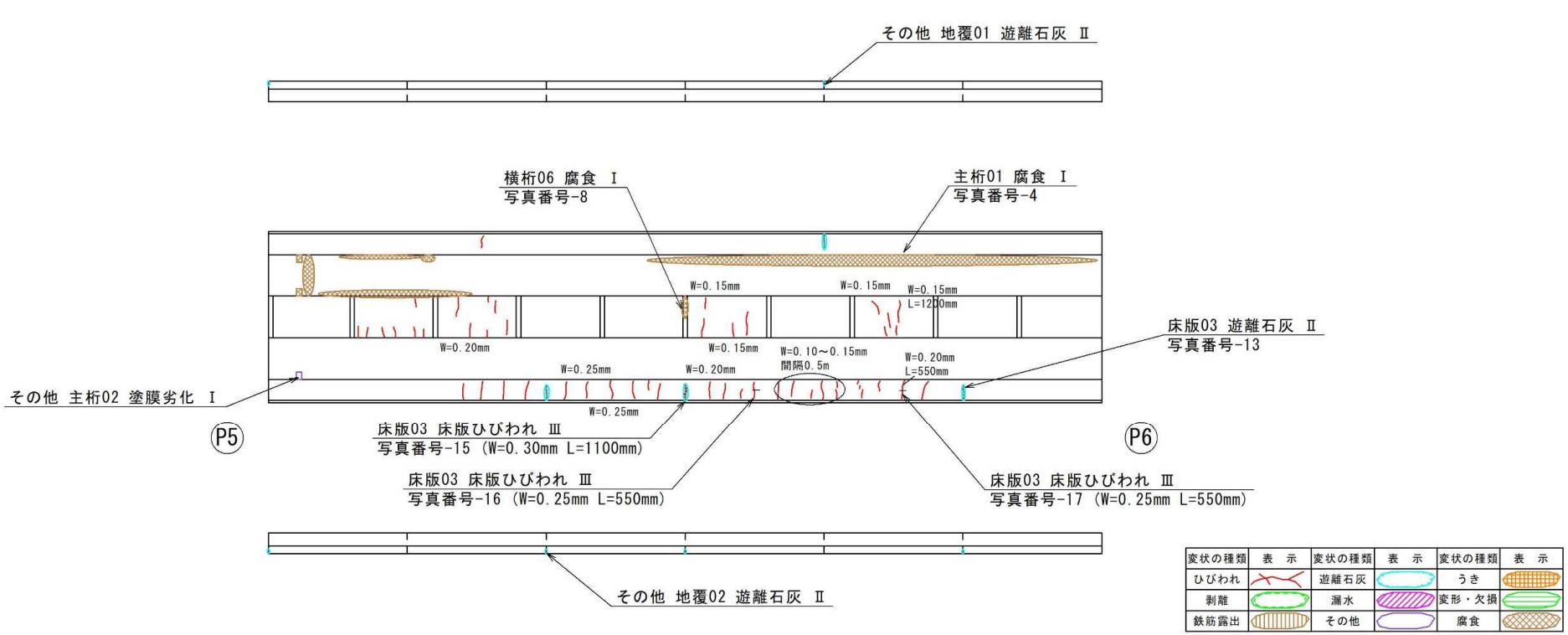
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅲ	Ⅱ	床版ひびわれ	6-床版03 写真15,16,17	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	6-橋脚02 写真18	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅰ	Ⅰ			－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	6

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅲ	Ⅱ	床版ひびわれ	6-床版03 写真15,16,17	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	6-橋脚02 写真18	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅰ	Ⅰ			－		

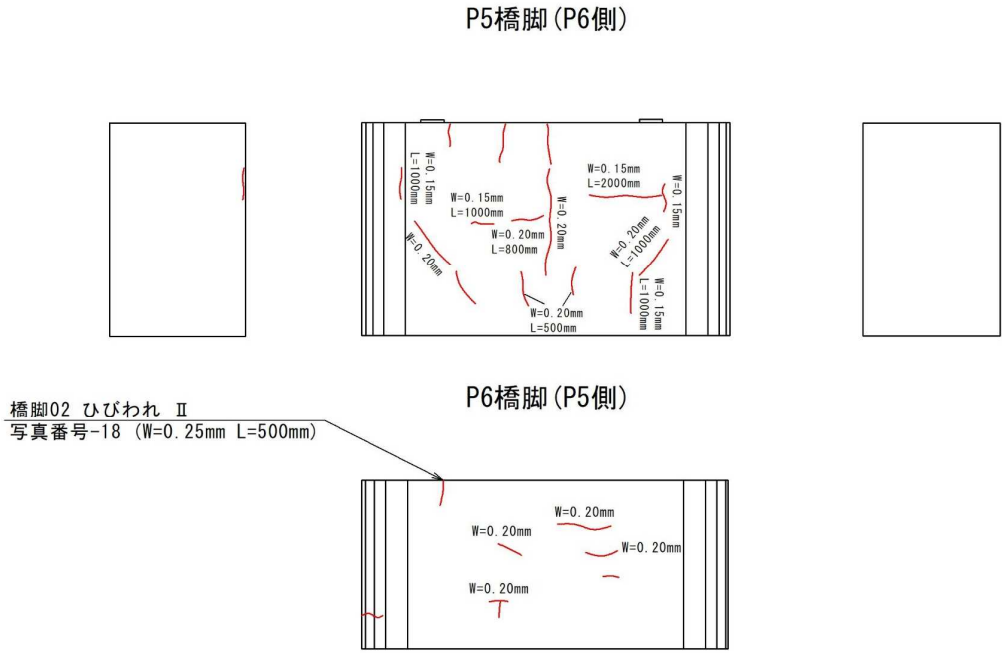
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	6

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

P5橋脚(P6側)
P6橋脚(P5側)



変状の種類	表　示	変状の種類	表　示	変状の種類	表　示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅲ	Ⅱ	床版ひびわれ	6-床版03 写真15,16,17	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	6-橋脚02 写真18	－		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			－		
その他		Ⅰ	Ⅰ			－		

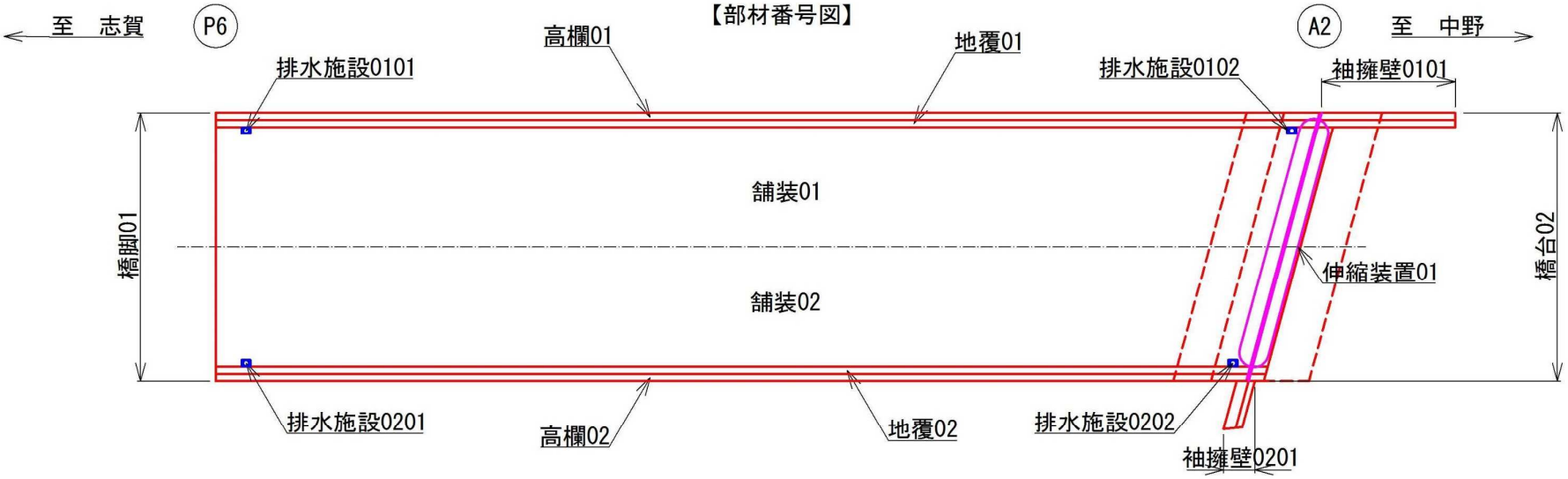
様式（その3）

部材番号図	径間番号	7

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

舗装・高欄・地覆・排水施設・伸縮装置・橋脚・橋台・袖擁壁
【部材番号図】



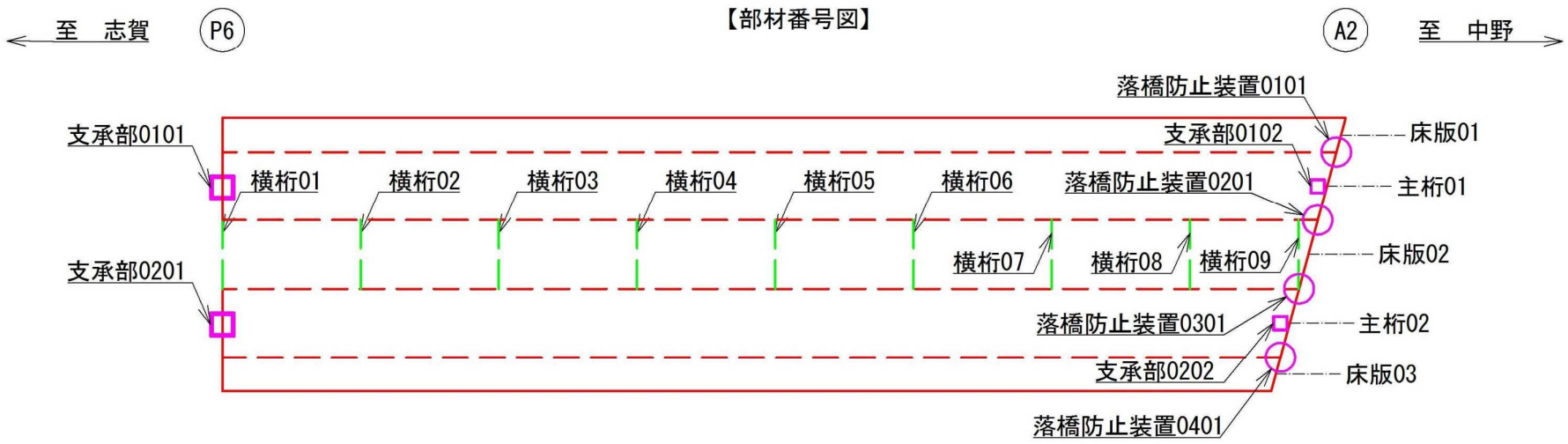
様式（その3）

部材番号図	径間番号	7

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

主桁・横桁・床版・支承部
【部材番号図】



様式（その3）

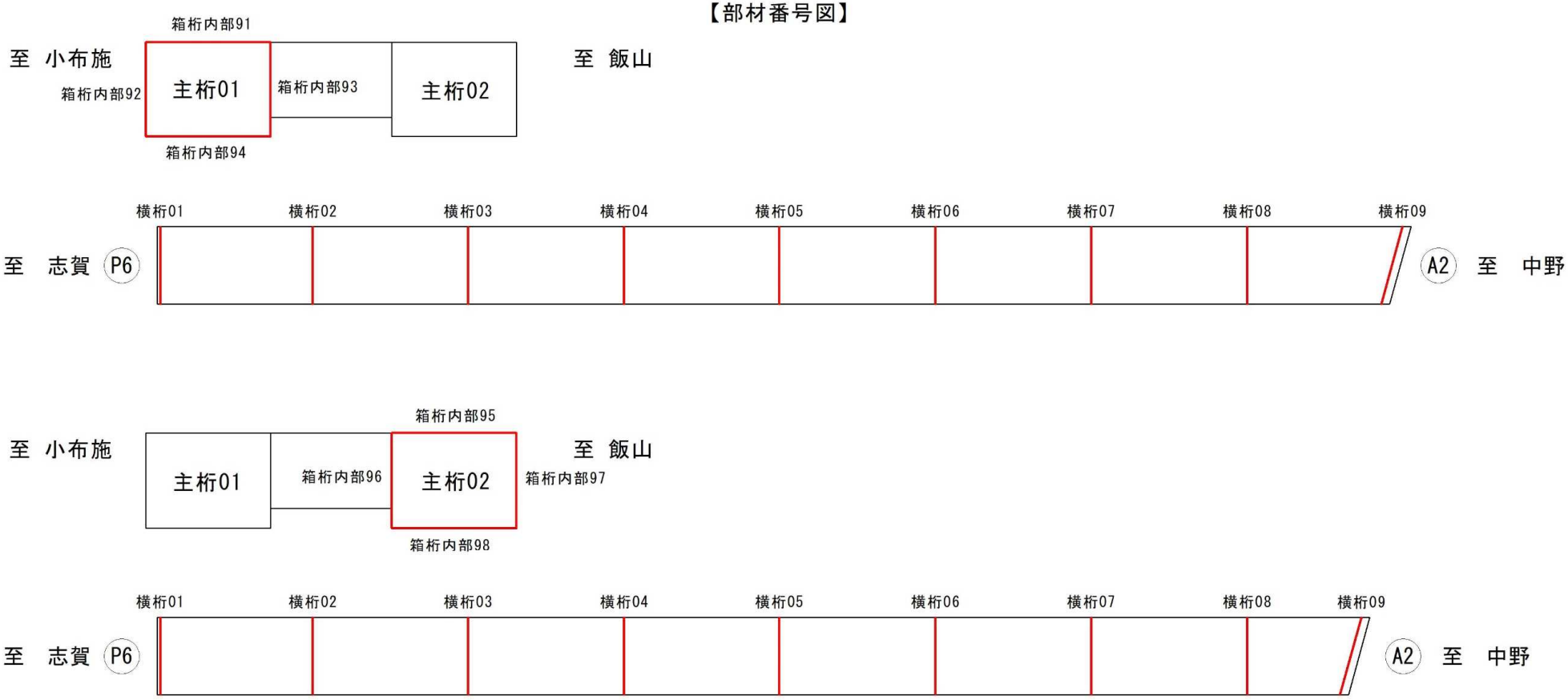
部材番号図	径間番号	7

フリガナ 橋梁名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

部材番号図

箱桁内部（未点検）

【部材番号図】



様式（その4－1）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	7

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に〇を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
1	路面・路上	舗装		舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	7-舗装02	1			
2		伸縮装置		遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とパラペットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。		7-伸縮装置01	2			
3				路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	7-伸縮装置01	3			
4		高欄・防護柵		腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	7-高欄01	4			
5		地覆・中央分離帯		変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	7-地覆02	5			
6		排水装置		土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水桝に土砂詰まりがある。			7-排水装置0201	6			
7	上部工	鋼	主桁※ （ゲルバー部，格点部，コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	7-主桁01	7			
8				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	7-主桁01	8			
9				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		7-主桁02	9			
10				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	7-主桁01	10			
11			横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		7-横桁09	11			
12				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		7-横桁04	12			
13				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		7-横桁03	13			
14				破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		7-横桁06	14			

様式（その4－2）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	7

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準 （該当する項目に○を付けて下さい）						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
					該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ					
15	上部工	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
16				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているもの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
17				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
18				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
19		コンクリート	主桁※ （ゲルバー部，PC定着部含む）	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
20				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
21				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
22				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
23			横桁※ （PC定着部含む） 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。					
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27			床版※ （張出部，PC定着部含む）	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	7-床版02	15			
28				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		7-床版02	16			
29				抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	7-床版02	17			
30				床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・〔方向〕一方向,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以下 ・〔方向〕格子状,〔間隔〕0.5～0.2m,〔幅〕0.2mm以下 [漏水・遊離石灰が有る場合] ・〔方向〕一方向または格子状,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以上 ・〔方向〕格子状,〔間隔〕0.2m以下,〔幅〕0.2mm以上 [漏水・遊離石灰が有る場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向または格子状,〔間隔〕問わない,〔幅〕0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	7-床版01	18			
31				定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

様式（その4－3）

橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	7

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36°　45′　14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138°　21′　12″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分　評価基準　（該当する項目に○を付けて下さい） 該当部材無し	未点検	判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。					
33	下部工	鋼	橋脚※	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部，溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。					
34	下部工	鋼	橋脚※	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
35	下部工	鋼	橋脚※	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。					
36	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	7-橋台02	19			
37	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	7-橋台02	20			
38	下部工	コンクリート	橋台※ 橋脚※	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		7-橋脚01	21			
39	基礎※			沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	7-基礎02	22			
40	基礎※			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	7-基礎01	23			
41	支承部※			支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	7-支承部0202	24			
42	支承部※			沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			7-支承部0201	25			
43	支承部※			漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水桝取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			7-支承部0202	26			
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	－	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　床版01　補修跡からひびわれ（W=0.25mm）（判定区分Ⅱ）						7-床版01	27			
46	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　伸縮装置01　止水材劣化・損傷　（判定区分Ⅱ）						7-伸縮装置01	28,29			
47	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　落橋防止装置0401　腐食　（判定区分Ⅰ）						7-落橋防止装置0401	30			
48	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]　舗装01～02(背面舗装)　ひびわれ・道路面の凹凸　（判定区分Ⅱ）						7-舗装01～02(背面舗装)	31			
49	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
50	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										
51	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁　など		損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]										

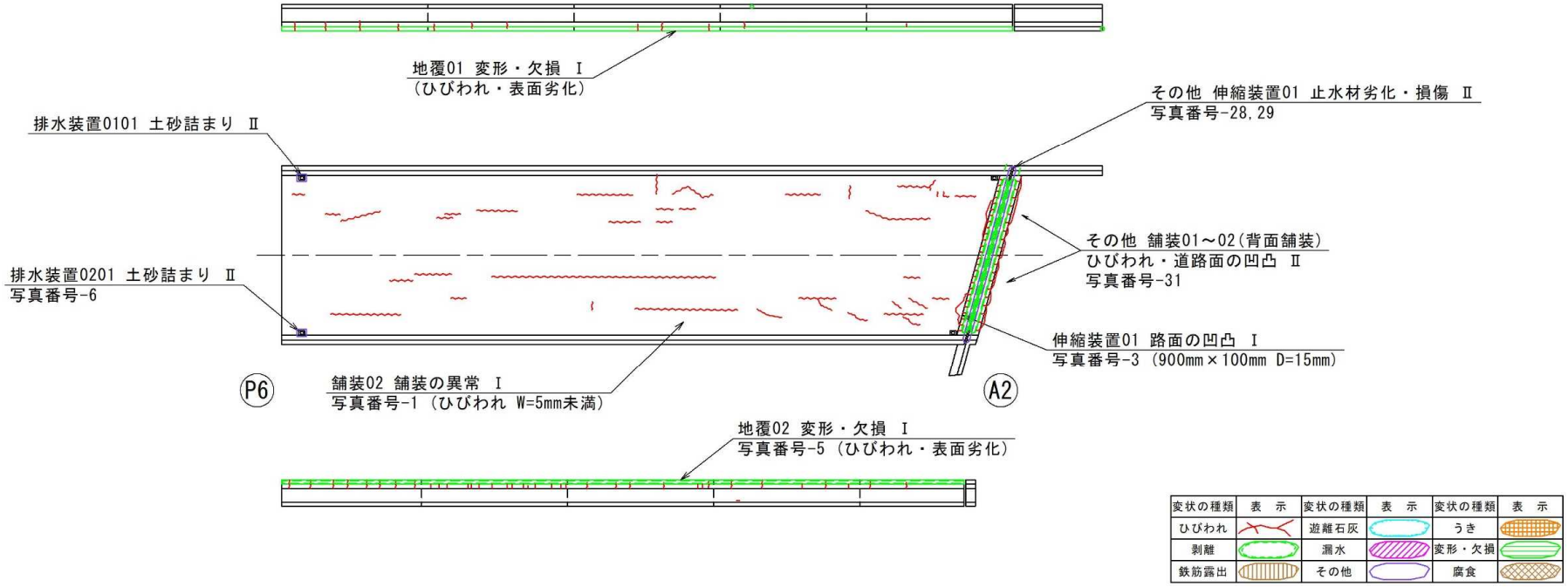
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	7

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

路面



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	7-床版02,7-床版01 写真16,18	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	7-橋台02 写真19	－		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	漏水・滞水	7-支承部0202 写真26	－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	土砂詰まり,補修跡からひびわれ,止水材劣化・損傷,ひびわれ・道路面の凹凸	7-排水装置0201,7-床版01,7-伸縮装置01,7-舗装01～02 写真6,27,28,29,31	－		

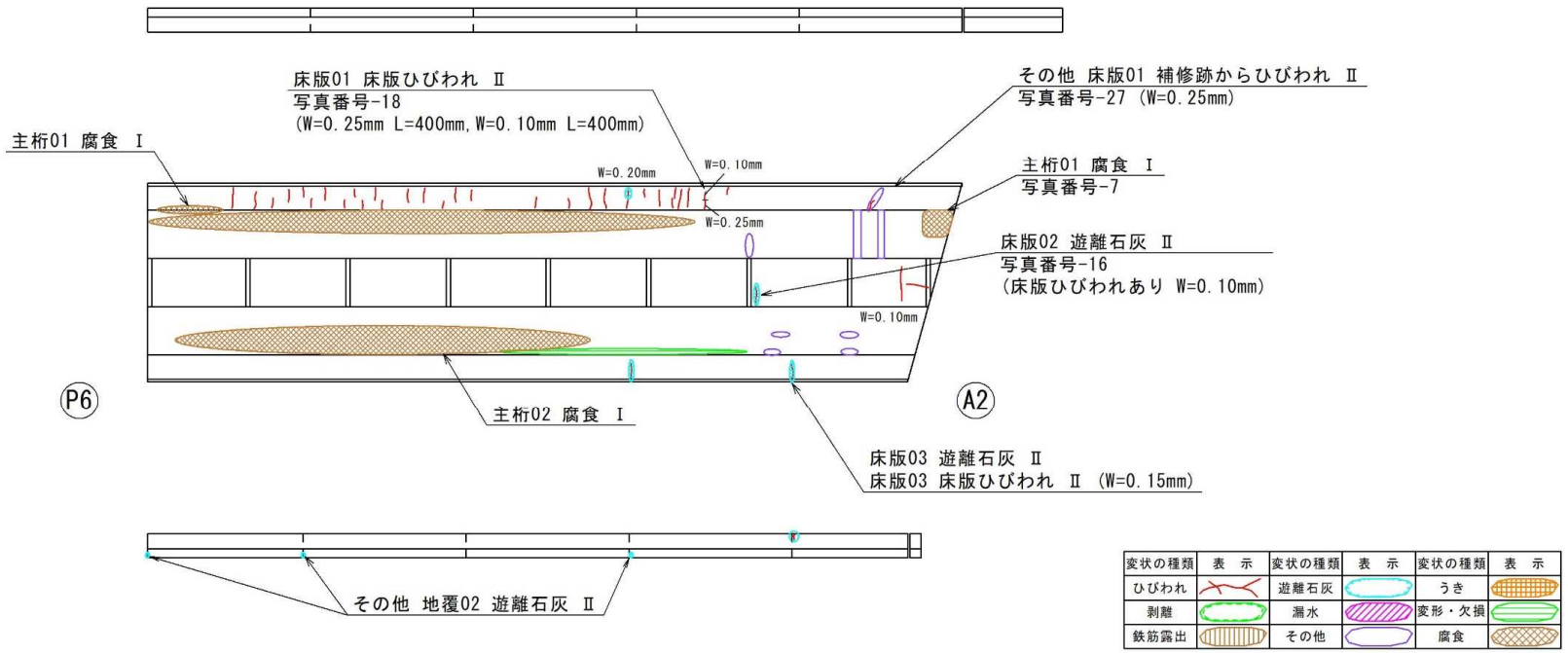
様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	7

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙

桁下



健全性の診断

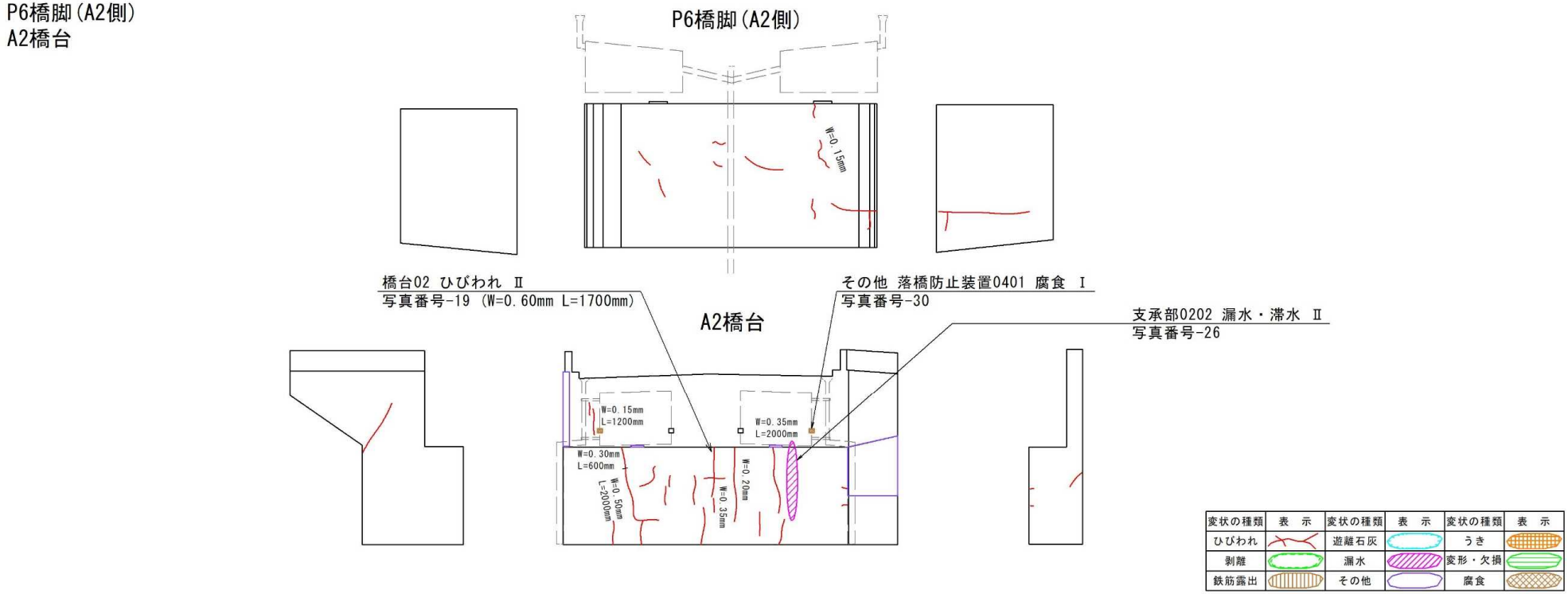
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	7-床版02,7-床版01 写真16,18	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	7-橋台02 写真19	－		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	漏水・滞水	7-支承部0202 写真26	－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	土砂詰まり,補修跡からひびわれ,止水材劣化・損傷,ひびわれ・道路面の凹凸	7-排水装置0201,7-床版01,7-伸縮装置01,7-舗装01～02 写真6,27,28,29,31	－		

様式（その5）

健全性の診断	径 間 番 号	7

フリガナ 橋 梁 名	ナナセコウカキョウ 4011 七瀬高架橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4011_0
所在地	長野県中野市大字七瀬　地先	起点側	緯度	36° 45′ 14″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 12″				

損傷図作成用メモ用紙



健全性の診断

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値（チェックシート）	判定区分の診断（技術者判断）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等がわかるように記載）	応急措置後の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	横桁	Ⅰ	Ⅰ			－		
上部構造	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	7-床版02,7-床版01 写真16,18	－		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	7-橋台02 写真19	－		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	漏水・滞水	7-支承部0202 写真26	－		
その他		Ⅱ	Ⅱ	土砂詰まり,補修跡からひびわれ,止水材劣化・損傷,ひびわれ・道路面の凹凸	7-排水装置0201,7-床版01,7-伸縮装置01,7-舗装01～02 写真6,27,28,29,31	－		